■このたびは、MP9500をお買い求め頂き、ありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮していただくために、必ず本取扱説明書をよくお読み下さい。また、読み終わった後も大切に保管し、わからないことが出てきた時にご利用下さい。

KAWAI

Professional Stage Piano

■特長

- ●木製ハンマーアクション鍵盤によるピアノタッチを追求したステージモデル。
- ●ピアノを中心として、キーボード必携の64音色を厳選。
- ●高品位リバーブ/エフェクトを搭載。
- ●内部音源、MIDI出力、或いはその両方を各々に選択できる4系統を持つマルチを64セットプログラム可能。
- ●充実のプロフェッショナル機能を満載。
  - ・様々なパラメータをリアルタイムにセットできるノブ、フットコントローラー。
  - ・4系列まで同時にコントロール可能なMIDIマスターキーボード機能。
  - ・XLR端子(バランスアウト)も備えた出力端子。

■同梱品

本体／電源コード／ダンパー、ソフトペダル／取扱説明書(本書)／保証書／ご愛用者カード(全て各1部)

安全上の注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています
製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

 注意 感電の危険あり 本体をあけるな

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

 このマークは、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

 △記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

 ○記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

 ●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止

●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源コードを抜き差ししない

●感電の原因になります。

◆本機を落とさない

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

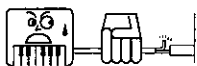
●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

分解禁止

●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源コードを抜くときは、コードを引っ張らない

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間ご使用しない時は必ず電源コードを抜く

プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

⚠注意

◆本機を次のような所では使用しない
●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

使用禁止

●故障の原因になります。

◆コード類を接続するときは、
各機器の電源を
切って行う

電源を切る

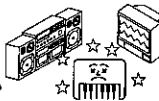
●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れない
ようにする

異物を入れない

●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆テレビやラジオ等の
電気機器の側に置かない

他電気機器から離す

●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類は
からまないように
接続する

からまないようにする

●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を
拭かない

ベンジン／シンナー禁止

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を
加えない

上に乗らない

●変形したり、壊れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

⃠ 本機は、木製鍵盤を搭載しているため、特に次の点に注意してください。

◆長期間立てたままにしない ●鍵盤の性能に影響を与えます。
◆湿度の高い場所での使用及び保管をしない ●鍵盤が変形し、故障の原因になります。
◆雨天に野外で演奏をしない ●鍵盤が変形し、故障の原因になります。
◆鍵盤に通常の演奏時以上の荷重をかけない ●故障の原因になります。

ヘッドホン使用時、または音量を下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

■修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

■目　次

はじめに

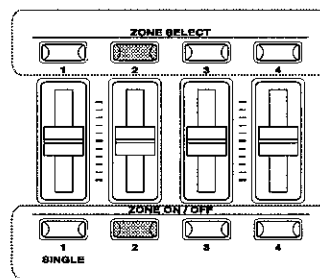
本機は、一つのゾーン（トラック）で演奏するシングルモードと、4つのゾーンを使って演奏するマルチモードを持ち、ステージで必要とされる厳選された64音色を内蔵したステージピアノです。

◇ 4つのゾーン

マルチモードでは、4つのゾーンを持ち、それぞれが、INT、EXT、BOTHの3つを選択できます。
INT（インターナル）は内蔵音源、EXT（エクスターナル）はMIDI出力、BOTH（ボス）はINT＋EXT（内蔵音源とMIDI出力）になります。
各セクションをそれぞれに設定をすることにより、様々な演奏形態が可能です。

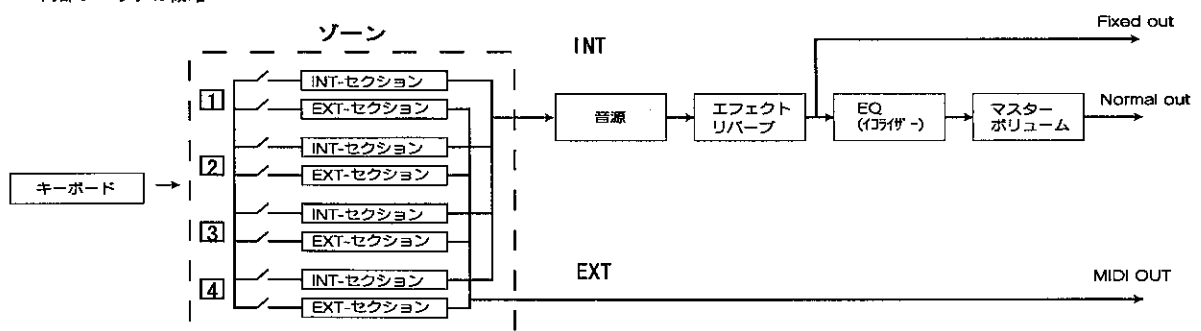
・INT
内部音源へ接続され、鍵盤やパネル上での操作は内部音源へ送信されます。

・EXT
鍵盤やパネル上での操作はMIDI OUTより出力されます。
接続した外部のMIDI音源などを操作するためのものです。
内部音源には関係しません。

・BOTH
INT＋EXT 両方を兼ね備えます。

ZONE SELECTボタン
このボタンでコントロールするゾーンを選択します。パネルを操作すると、点灯しているボタンのゾーンに反映されます。このボタンは常にどれか1つだけ点灯しています。

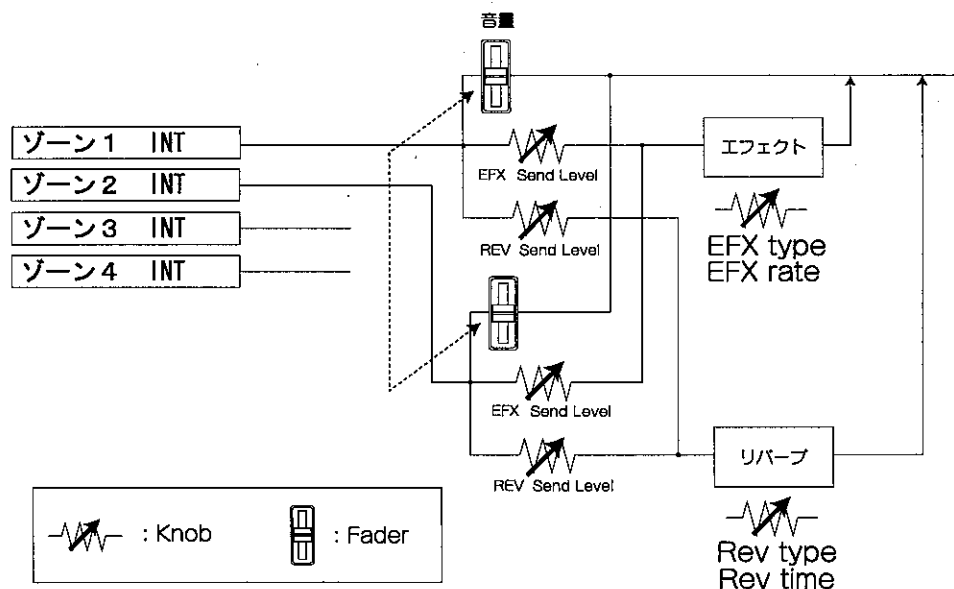
フェーダー
4ゾーンのそれぞれのボリュームを調整します。各々のゾーンのバランスをとります。

ZONE ON/OFFボタン
このボタンでゾーンのミュートを設定します。点灯しているゾーンの音が出ます。或いはMIDIアウトします。（但し、ノート情報以外は送信します。）シングルモードではゾーン1を使用します。

・内部ブロックの概略

◇ 4つのノブ

パネル上には4つのノブがあり、4つのパラメータ（エフェクト/イコライザー/トーンモディファイ/コントロールチェンジ）をアサインすることができます。
演奏中にノブを使ってリアルタイムにこれらの値を変更させることができます。

◇ REVERB（リバーブ）/EFFECT（エフェクト）

本機は、7種類のリバーブと21種類のエフェクトを搭載しています。
パネルにある4つのノブで、アサインされているリバーブ/エフェクトのパラメータの値を変更することができます。

		Multiモード
EFX /Rev	Type	1-4ゾーン共通
	Rate/Time	1-4ゾーン共通
	Depth	1-4ゾーン個別設定可能

◇ SINGLE（シングル）/MULTI（マルチ）/SYSTEM（システム）

本機は、SINGLE(シングル)/MULTI(マルチ)/SYSTEM(システム)から構成されており、
音色ボタンの上にある2つのボタンで切り替えできます。

・SINGLEモード
：一つの音色のみで演奏するモードです。音色ボタンを選択し演奏します。（P.14参照）

・MULTIモード
：各ゾーン毎に様々な設定ができ、その演奏状態を64個まで本体内部に保存します。簡単なボタン操作で演奏状態を呼び出すことができます。（P.25参照）

・SYSTEM
：本機全体に関する設定を行います。（P.46参照）

SINGLE/MULTIのモードで設定した内容は、STORE（ストア）操作を行い保存しないと、電源を切ったり、他のセットアップを選択した時点で設定内容は消えてしまいます。
SYSTEMで設定した内容は、SYSTEMを抜けるとき自動的に保存されます。

1. 各部の名称と働き

◆ フロントパネル

【フェーダー部】

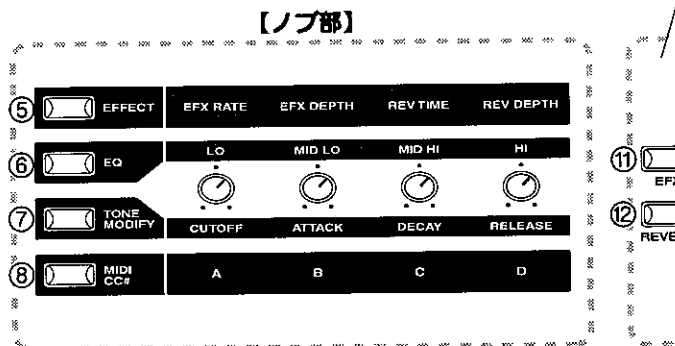
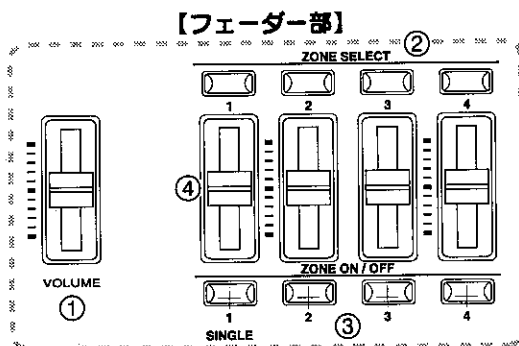
①VOLUME
全体のボリュームを調節します。（INTのみ有効）

②SELECTボタン
4つのゾーンを選択します。4つの内1つのボタンのみ選択できます。
MULTIでBOTHを選択時はINTとEXTのエディット・パラメータ群を切り替えます。
パネルの状態は、選択されているボタンのゾーンの状態です。
設定を行う場合は、ここでゾーンを選択します。

③ZONE ON/OFFボタン
ゾーンのミュートを設定します。
消灯しているボタンのゾーンは、ミュートされています。

④フェーダー（ゾーン・ボリューム）
各ゾーンのボリュームを設定します。

【フェーダー部】

【ノブ部】

【ノブ部】
4つのノブは、左横の4つのボタンの項目の値を変更します。
点灯しているボタンが有効です。

⑤EFFECTボタン （P. 19参照）
選択されているゾーンの、エフェクト/リバーブのレートとデプスを調節します。

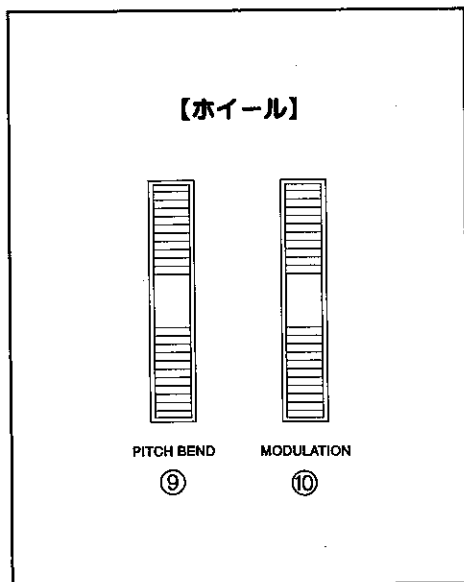
⑥EQボタン （P. 23参照）
イコライジングをします。

⑦TONE MODIFYボタン （P. 23参照）
選択されているゾーンの、カットオフ/アタック/ディケイ/リリースの値を設定できます。

⑧MIDI CC#ボタン （P. 24参照）
コントロールチェンジをアサインして値をMIDI OUTします。
コントロール・ナンバーは各ゾーンで設定可能です。

【ホイール】

⑨PITCH BEND
このホイールを上下することで、音程を上下できます。

⑩MODULATION
ビブラート等のかかり具合を調節することができます。

【エフェクトスイッチ】
⑪EFXボタン（P.19参照）
エフェクトのオン/オフを各ゾーン毎に行います。

⑫REVERBボタン（P.20参照）
リバーブのオン/オフを各ゾーン毎に行います。

EFXとREVERBボタンを長く押すことでエフェクトやリバーブのタイプのエディットが出来ます。

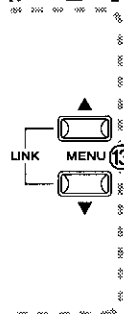
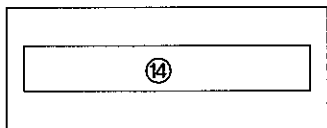
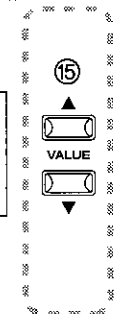
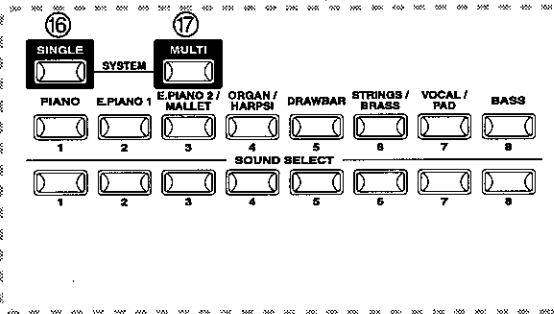
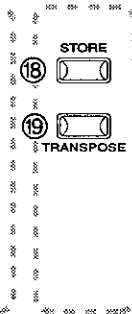
【メニュー】
⑬MENUボタン
各モード（シングル/マルチ/システム）でいろいろな設定ができます。この設定項目をMENUボタンで選択します。
LINKボタン（P.44参照）
2つのMENUボタンを同時に押せば、シングルとマルチの呼び出しに便利なリンクモードになります。

【ディスプレイ】
⑭音色や設定を表示します。

【バリュー】
⑮VALUEボタン
メニューで選択した項目の値を設定します。

【シングル・マルチ】
⑯SINGLEボタン（P.14参照）
このボタンの点灯中は、シングルモードであることを示します。

⑰MULTIボタン（P.25参照）
このボタンの点灯中は、マルチモードであることを示します。

SINGLEボタンとMULTIボタンを同時に押して点灯させれば、システムモードに入ります。

【その他】

⑱STOREボタン
シングル/マルチ/リンクでの設定を本体内部に保存します。

⑲TRANSPOSEボタン（P.18参照）
トランスポーズ（移調）のオン/オフボタンです。
移調する値は、TRANSPOSEボタンを押しながら鍵盤を押すか（C3=0）、VALUEボタンで設定します。

①OUTPUT

・FIXED R・L　　XLR端子を接続します。　ボリュームとイコライザーは、バイパスされます。

・NORMAL　R・L/MONO　標準プラグを接続します。ボリュームとイコライザーも通って出力されます。

②PHONES

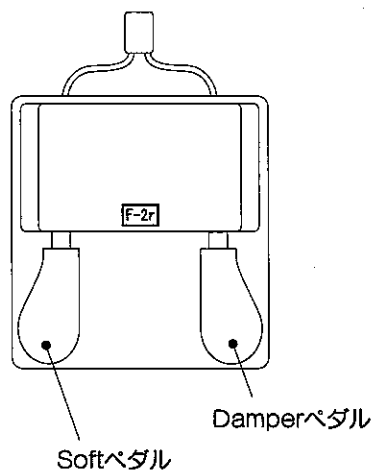
ヘッドホンを接続します。

③Foot Controller

・EXP　　別売りのエクスプレッションペダル（V-20X）と接続します。
システムでコントロールチェンジ番号を設定することで、いろいろな機能をアサインすることができます。

・FSW　　別売りのフットスイッチ（F-1）と接続します。
システムでコントロールチェンジ番号を設定することで、いろいろな機能をアサインすることができます。

④DAMPER/SOFT

付属のフットペダル（F-2ｒ）と接続します。
ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾くと、音に余韻が加わります。
ソフトペダルを踏めば音量がわずかに下がると同時に音の響きが柔らかくなります。
エフェクトでロータリーが選択されている時は、ソフトペダルでスロー／ファーストを切り替えられます。

⑤MIDI　IN/OUT/THRU

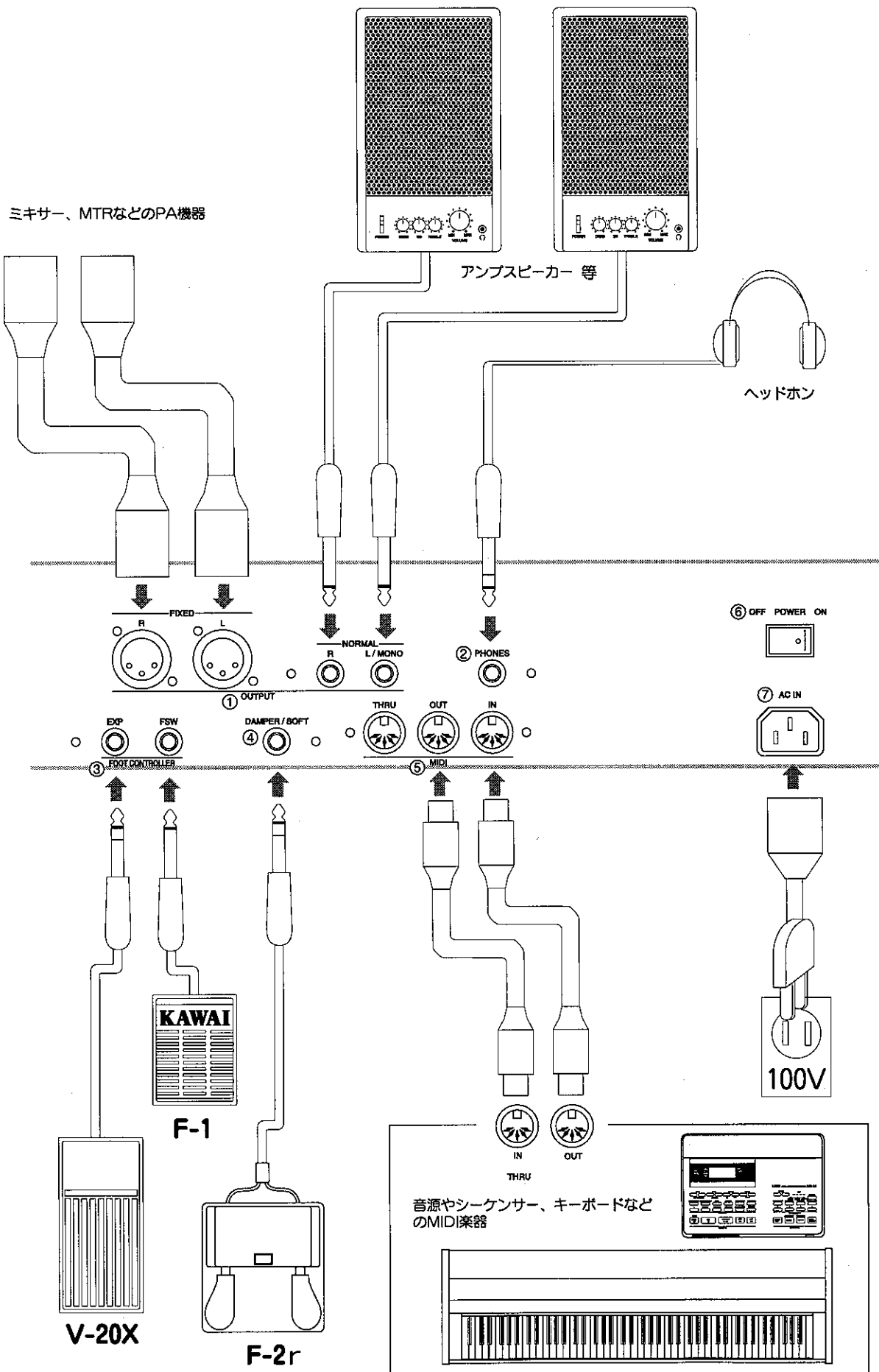
MIDI端子です。MIDIケーブルで他のMIDI機器と接続します。

⑥POWER ON/OFF

電源のON/OFFを行います。

⑦AC IN

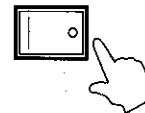
電源コードでAC100Vのコンセントと接続します。

ミキサー、MTRなどのPA機器
アンプスピーカー 等
ヘッドホン
FIXED
R
L
NORMAL
L / MONO
② PHONES
① OUTPUT
⑥ OFF POWER ON
⑦ AC IN
EXP
FSW
DAMPER / SOFT
THRU
OUT
IN
③ FOOT CONTROLLER
④
⑤ MIDI
KAWAI
F-1
V-20X
F-2r
100V
IN
OUT
THRU
音源やシーケンサー、キーボードなどのMIDI楽器

2. 弾いてみましょう

1) 電源を入れます。

□ 操作

リアパネルの電源スイッチを入れます。

MP9500の音を聞くには、
・アンプスピーカーなどに接続する、 或いは
・ヘッドホンを接続してください。
接続したアンプなどの電源を入れる前に本機の電源を入れるようにしてください。

2) 弾いてみましょう。

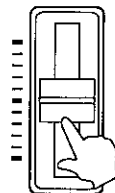
電源オンの状態ではシングルモードになります。
このモードはシンプルに64の音色を選択して演奏するモードです。

□ 操作

鍵盤を弾いてください。

□ 操作

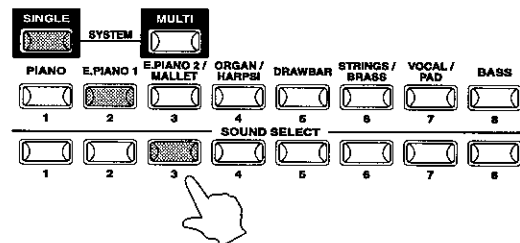
VOLUMEスライダーで音量を調節してください。

上へ移動するほど音量が増します。

3) 音色を変えてみましょう。

64の厳選した音色が内蔵されております。

□ 操作

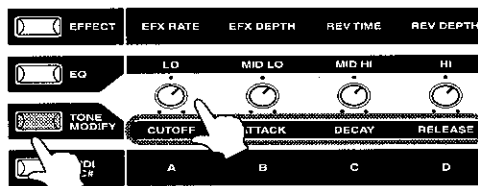
音色を選びます。

2列の音色ボタンの上の列でお好みの音色を選択します。
下の列で同系統の音色のバリエーションを選択します。

4）音色を変化させてみましょう。

□ 操作

TONE MODIFYボタンを押して点灯させてください。

ノブの一番左（CUTOFF）をまわしてください。

右に回すと明るい音色になり、左にまわすとソフトになります。

5）マルチモードを選択しましょう。

□ 操作

マルチボタンを押して点灯させてください。

マルチモードでは、最大、内部音源４音色、外部で４音色を同時に鳴らす等、多様な演奏形態が設定できます。

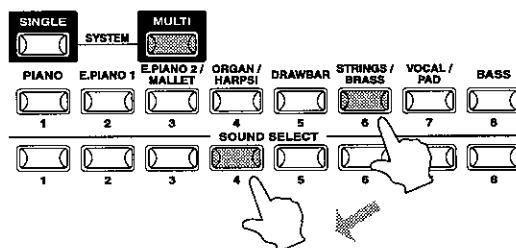
```
MULTI
1-1MULTI
```

６４のマルチがあります。

□ 操作

音色ボタンを押してマルチ音色を切り替えます。

音色ボタンの２列で選びます。6-4を呼び出す場合は、
音色ボタンの上段６ボタンと下段の４ボタンを押します。

```
MULTI
6-4MULTI
```

以上で6-4のマルチが呼び出されました。

6）各ゾーンの音量を調節してみましょう。

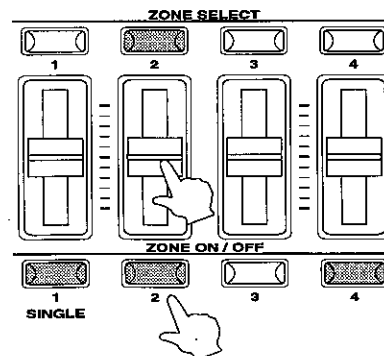
□ 操作

4つのフェーダーを動かしてみましょう。

各ゾーンの音色の音量が変更できます。

□ 操作

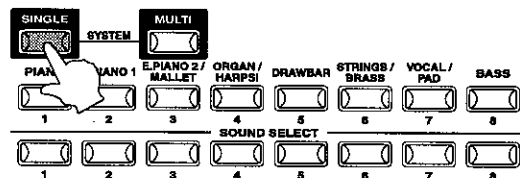
ZONE ON/OFFボタンでミュートしてみましょう。

点灯しているボタンを押して消灯させると、そのゾーンの機能が止まります。
音が出ていれば止まります。再度そのボタンを押すと点灯させると、
再び機能します。

3. SINGLE（シングル）

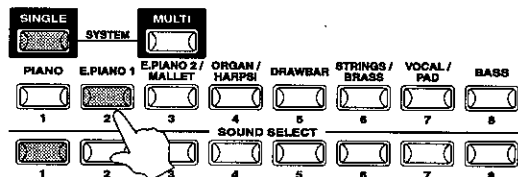
SINGLEボタンが点灯している状態が、シングルモードです。

1）内部音源を鳴らしてみましょう。

点灯

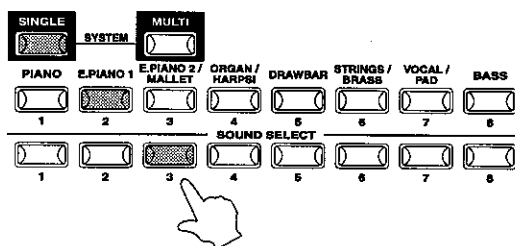
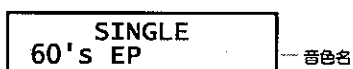
本機には、厳選された64音色が内蔵されています。
まず、SINGLEボタンが点灯していることを確認ください。
消灯時は、SINGLEボタンを押して点灯させてください。

□ 操作 1

上列の音色ボタンを押して音色系列を選びます。

音色SWは上下の2列あり、上列がバンク（音色系列）、
下列がバリエーションとなっております。
例えば、エレクトリックピアノを選択するには、まず、
上列のE.PIANO 1を選択します。

□ 操作 2

下列の音色ボタンを押してバリエーション音色を選びます。

バリエーション1－8のいずれかを、例えば3を選択します。

```
 SINGLE
60's EP
```
音色名

★
音色選択は、VALUEボタンで行うこともできます。

シングルモードでは、1つのゾーンを使用するモードですので、フェーダーは左端の1ゾーンのみが有効です、
また、ゾーンセレクト、ゾーンミュートボタンは操作できません。

2) 外部音源を鳴らしてみましょう。

ここでは、 MP9500を操作して、 接続したMIDI音源を操作する場合を説明します。
シングルモードでは、 1つのチャンネルをMIDI送信・受信します。

◇ 本機とMIDI音源とを接続します。

□ 操作 1

本機のMIDI OUTと接続MIDI音源のMIDI INとをMIDIケーブルで接続します。

（P.11参照）

SINGLE

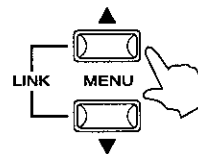
◇ MIDIチャンネルを合わせます。

MIDI情報をやり取りする場合は、 MIDIケーブルで接続した機器のMIDIチャンネルを合わせなければいけません。
シングルモードでのMIDI送信チャンネルの設定の仕方は以下の通りです。

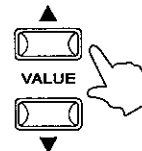
□ 操作 2

MENU-UPボタンを押していきます。

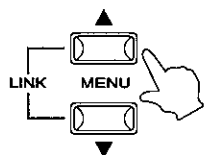
SINGLEボタンが点灯時に押します。
MENU-UPボタンを数回押していくと送信MIDIチャンネル設定画面が表示されます。

```
Concert Grand
TX/RX  Ch  = 16
```

□ 操作 4

VALUEボタンを押してMIDIチャンネルの値を設定します。

1～16の間で値を設定します。

★
本機で鍵盤を弾いたり、後で説明するノブを使ってパラメーターの値を変更するなどの演奏/操作を行うと、本機のMIDI OUTよりその演奏/操作情報が接続したMIDI機器へ送られます。
後で説明するマルチモード（P.25参照）では、本機より複数のチャンネルを送信する、指定した音色（プログラムナンバー）を記憶しておくなどの多彩なMIDI送信ができます。

9) SINGLE EDIT（シングル エディット）

シングルモードでは、下記設定ができます。
SINGLEボタンの点灯中にMENUボタンを押していくと、エディットモードになり、設定を見たり、変更することができます。

・Voicing
・TX/RX CH
・Volume Asgn
・FSW Asgn
・EXP PDL Asgn

★
Voicingは、各64音色毎に設定できます。
他は、シングルモード全体に設定します。

★
設定中（エディットモード）にSINGLEボタンを押すとエディットモードから抜けます。

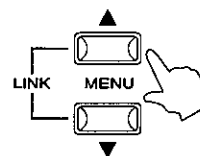
設定した内容は電源を切るまでは、音色を選びなおしても保持されています。
電源切った後も保持したい場合は、Store Single（P.37参照）で保存作業を行ってください

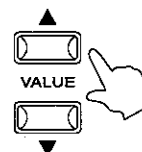
SINGLE

◆ 設定作業

ここでは、シングル メニューでの各項目を設定する際の共通作業を説明します。

□ 操作 1
MENUボタンを押して設定を行うパラメータの画面をディスプレイに表示させます。

SINGLEボタンが点灯している時にMENUボタンを押します。

□ 操作 2
VALUEボタンで値を設定します。

値は各パラメーターによって範囲が異なります。
1つの設定を行ったら、MENUボタンを押して他の項目の設定をつづけて行うことができます。

□ 操作 3
STOREボタンで設定を保存します。

この作業を行わないと電源を切ると値は消えてしまいます。（P.37参照）

◇ Voicing（ボイシング）

[設定値：Normal/Mellow/Dynami/Bright]

```
Concert Grand
Voicing = Normal
```

ピアノ音色のための効果です。
アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の4種類の中より選べます。

- ・Nomal（ノーマル）：通常の設定です。
- ・Mellow（メロー）：柔らかめのハンマーをシミュレートした全体にソフトな音色になります。
- ・Dynami（ダイナミック）：ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
- ・Bright（ブライト）：硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。

ピアノ音色のための効果ですが、他の音色にも適用できます。

◇ TX/RX CH（送信受信チャンネル）

[設定値：1~16]

```
Concert Grand
TX/RX  Ch  = 16
```

送信と受信MIDIチャンネルを設定します。 （P.15参照）

◇ Volume Assign（ボリュームアサイン）

[設定値：Int/Ext/Both]

```
Concert Grand
Volume Asn = Int
```

フェーダーで変更できるボリューム値をどこへ出力するかを設定します。

- Int ：内蔵音源へ出力。MIDI送信しません。
- Ext ：MIDI送信します。内蔵音源には影響しません。
- Both ：内蔵音源とMIDI送信します。

◇ FootSW Assign（フットスイッチアサイン）

[設定値：Int/Ext/Both]

```
Concert Grand
FootSW Asn = Int
```

リアパネルFSW端子に接続された、
フット・スイッチの値をどこへ出力するかを設定します。

- Int ：内蔵音源へ出力。MIDI送信しません。
- Ext ：MIDI送信します。内蔵音源には影響しません。
- Both ：内蔵音源とMIDI送信します。

◇ ExpPedal Assign（エクスプレッションペダルアサイン）

[設定値：Int/Ext/Both]

```
Concert Grand
ExpPdl Asn = Int
```

リアパネルEXP端子に接続された、
エクスプレッション・ペダルの情報をどこへ出力するかを設定します。

- Int ：内蔵音源へ出力。MIDI送信しません。
- Ext ：MIDI送信します。内蔵音源には影響しません。
- Both ：内蔵音源とMIDI送信します。

4.TRANSPOSE（トランスポーズ）

トランスポーズ機能を使って、 音程を半音単位で-24～0～+24 （4オクターブの範囲） を変更することができます。

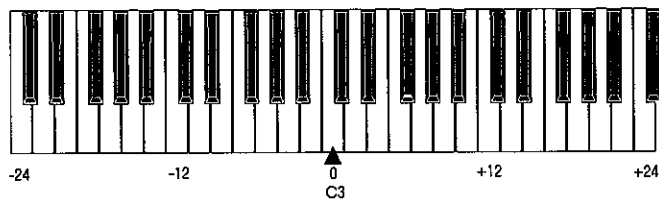
□ 操作 1

TRANSPOSEボタンを押しながら鍵盤を押して値を設定します。

TRANSPOSEボタンが点灯時、 設定した値だけ移調されます。
TRANSPOSEボタンを押している間、 ディスプレイに値が表示されます。

TRANSPOSE +10

C3の鍵盤で0です。
ディスプレイにトランプポーズの値が表示されています。

VALUEボタンで値を設定することもできます。

5.EFX/REVERB（エフェクト/リバーブ）

高品位なEFX（エフェクト）とREVERB（リバーブ）を内蔵しています。

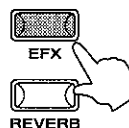
◆EFX（エフェクト）

◇ エフェクトのオン/オフ

内蔵音色には、工場出荷時にエフェクトがセットされています。

□ 操作 1

EFXボタンを押して点灯させます。

音色にエフェクトがかかります。
再度押して消灯させると、エフェクトを切ることができます。
但し、後述(P.21 参照)のエフェクトデプス(EFX DEPTH)がゼロの時は
点灯が点滅となり、効果がかからないことを示します。

◇ EFX type（エフェクト タイプ）

[設定値：Chorus1,2,3/Flangr1,2/Ensembl/Celeste/Delay1,2/AutoPan/Tremolo/Phaser1,2/Rotary1,2/AutWah/Exciter/Enhancr/Overdrv/Distrtn/SympRes]

□ 操作 1

EFXボタンを長く押すとエフェクトタイプの設定ができます。

再度押すと設定画面から出て行きます。

```
  EFX TYPE
14:Rotary1
```

□ 操作 2

VALUEボタンを押してタイプを設定します。

21 種類のエフェクトを内蔵しています。

No.	エフェクト名	内容
1,2,3	Chorus1/2/3（コーラス1/2/3）	元々の音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
4,5	Flangr1/2（フランジャー1/2）	ダイレクト音にピッチ（音程）が微妙にずれた音を加えて、ジェット機上昇降下音のようなフランジング効果のシミュレートです。
6	Ensembl（アンサンブル）	下記のセレステよりも複雑な変調を加えた効果です。
7	Celeste（セレステ）	3相のコーラスです。コーラスをさらに柔かにした効果です
8,9	Delay1/2（ディレイ1/2）	元の音に山びこ（エコー）のような反響音を加える効果です。
10	AutoPan（オートパン）	音を左右に振ります。
11	Tremolo（トレモロ）	音量を連続的に変化させ音に揺れを与えます。
12,13	Phaser1/2（フェーザー1/2）	位相変調を行い音にうねりを与えます。
14,15	Rotary1/2（ロータリー1/2）	回転スピーカーの効果のシミュレートです。 Rotary2では、1を少し歪ませた効果が得られます。
16	AutWah（オートワウ）	音の周波数にピークを持たせ、自動的にそのピークを移動させる効果です。
17	Exciter（エキサイター）	原音に広域倍音を加え、音にメリハリをつけます。
18	Enhancr（エンハンサー）	音の輪郭を補正して、音を際立たせる効果です。
19	Overdrv（オーバードライブ）	音を歪ませます。
20	Distrtn（ディストーション）	オーバードライブよりもさらに音を歪ませます。
21	SympRes（シンパセティックレゾナンス）	ダンパーペダルを踏んだとき、ピアノ全体の共鳴音を加えます。

★ タイプを変更すると、デプス（EfD）とレート（EfR）の値(P.21参照)が、自動的にそのタイプの最適な値へ変わります。
内部音源にのみ有効です。

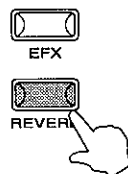
◆ REVERB（リバーブ）

◇ リバーブのオン/オフ

音色にかけられているリバーブ効果のオン/オフを行います。

□ 操作 1

REVERBボタンを押して点灯させます。

音色にリバーブが加わります。
再度押して消灯させると、リバーブ効果を切ることができます。
但し、後述(P.22参照)のリバーブデプス(REV DEPTH)がゼロの時は
点灯が点滅となり、効果がかからないことを示します。

◇ REV Type（リバーブ タイプ）

[設定値：Hall1/Hall2/Stage1/Stage2/Room1/Room2/Plate]

□ 操作 1

REVボタンを長く押すとエフェクトタイプの設定ができます。

再度押すと設定画面から出て行きます。

```
REVERB TYPE
1:Hall1
```

□ 操作 2

VALUEボタンを押してタイプを設定します。

リバーブとは音に響きを与える効果です。
7種類のリバーブから選択できます。

No.	リバーブ名	内容
1	Hall1（ホール1）	スタンダードなホールでの残響音をシミュレートしています。
2	Hall2（ホール2）	小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
3	Stage1（ステージ1）	スタンダードなステージでの残響音をシミュレートしています。
4	Stage2（ステージ2）	小さなステージでの残響音をシミュレートしています。
5	Room1（ルーム1）	スタンダードな室内での残響音をシミュレートしています。
6	Room2（ルーム2）	小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
7	Plate（プレート）	金属板リバーブをシミュレートしています。

★
タイプを変更すると、リバーブタイム（RvT）の値（P.22参照）が、自動的にそのタイプの最適な値へ変わります。
内部音源にのみ有効です。

6. KNOB(ノブ)

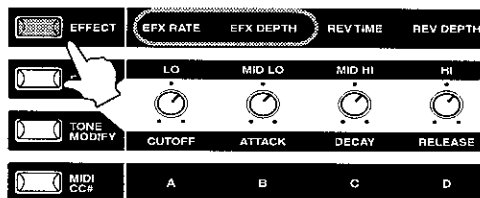
1) EFX/REVERB (エフェクト/リバーブ)

◇ ノブを使ってそれぞれのエフェクトの値を設定します。

□ 操作 1

EFFECTボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、エフェクト設定機能に移り変わります。

```
IEfR EfD RvT RvD
  41  64  96 127
```

・EfR [EFX RATE] (0~127)
　：レートは、エフェクトの種類によって内容が異なります。

・EfD [EFX DEPTH] (0~127)
　：エフェクトのかかり具合を設定します。

		EfR		EfD
1	CHORUS 1	rate	0~12.7Hz	send level
2	CHORUS 2	rate	0~12.7Hz	send level
3	CHORUS 3	rate	0~12.7Hz	send level
4	FLANGER1	rate	0~12.7Hz	send level
5	FLANGER2	rate	0~12.7Hz	send level
6	ENSEMBLE	rate	0~12.7Hz	send level
7	CELESTE	rate	0~12.7Hz	send level
8	DELAY1	delay time	0~100(%)	send level
9	DELAY2	delay time	0~100(%)	send level
10	AUTO PAN	rate	0~12.7Hz	wet balance
11	TREMOLO	rate	0~12.7Hz	wet balance
12	PHASER1	rate	0~12.7Hz	wet balance
13	PHASER2	rate	0~12.7Hz	wet balance
14	ROTARY1	rate	slow/fast	wet balance
15	ROTARY2	rate	slow/fast	wet balance
16	AUTO WAH	sense	0~100(%)	wet balance
17	EXCITER	intensity	0~100(%)	send level
18	ENHANCER	intensity	0~100(%)	send level
19	OVERDRIVE	drive	0~100(%)	wet balance
20	DISTORTION	drive	0~100(%)	wet balance
21	SYMPATHETIC RESONANCE	earlyreflevel	0~100(%)	send level

★ EXTの場合は、DEPTH(EfD)のみ有効です。

・EFXボタンがオン(点灯)でもEFX DEPTHをゼロに設定すると、ボタンは点滅となり、効果がかからないことを示します。
・後述のマルチエディット中に本表示をさせたときは、上列左端にIスはEが表示され、INT、EXTどちらのノブ操作かを示します。

◇ ノブを使ってそれぞれのリバーブの値を設定します。

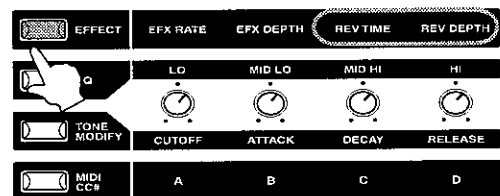
□ 操作 1

EFFECTボタンを押して点灯させます。

４つのノブが、エフェクト設定機能に変わります。

```
IEfR EfD RvT RvD
 41  64  96 127
```

・RvT [REV TIME] (0～127)
　：リバーブタイムを設定します。

・RvD [REV DEPTH] (0～127)
　：リバーブ効果の深さを設定します。

		RvT		RvD
1	REV HALL 1	rev.time	0.3～5.0 S	send level
2	REV HALL 2	rev.time	0.3～5.0 S	send level
3	REV STAGE 1	rev.time	0.3～3.0 S	send level
4	REV STAGE 2	rev.time	0.3～3.0 S	send level
5	REV ROOM 1	rev.time	0.3～3.0 S	send level
6	REV ROOM 2	rev.time	0.3～3.0 S	send level
7	REV PLATE	rev.time	0.3～3.0 S	send level

★ EXTの場合は、DEPTH(RvD)のみ有効です。

・REVERBボタンがオン（点灯）でもREVERB DEPTHをゼロに設定すると、ボタンは点滅となり、効果がかからないことを示します。
・後述のマルチエディット中に本表示をさせたときは、上列左端にＩ又はＥが表示され、INT、EXTどちらのノブ操作かを示します。

2) EQ（イコライザー）

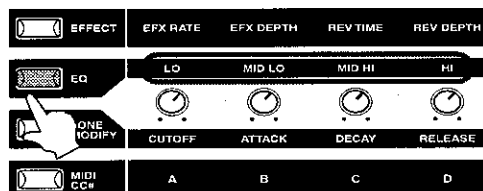
パネルのノブを使って、 イコライジングができます。
本機のイコライザーは、 INT の音源全体に対する設定で、 SELECT ボタンで選択したゾーン毎の設定ではありません。
また EXT には、 影響しません。

□ 操作 1

EQボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、 イコライジング機能に変わります。

```
Lo Mlo Mhi  Hi
+6  +5  +4  +2
```

・-6～0～+6 の範囲で値を設定できます。

□ 操作 2

4つのノブで、LO/MID LOW/MID HI/HIの値を変更できます。

それぞれ低 / 中低 / 中高 / 高の周波数をブースト / カットします。

★
FIXEDでの出力では、ここでの値の変更は影響しません。
内蔵音源のみに有効です。

3) TONE MODIFY（トーン モディファイ）

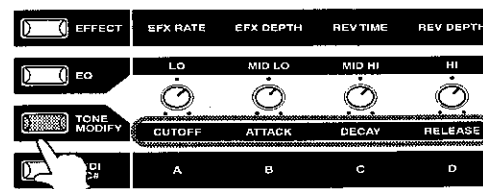
パネルのノブを使って、 音質を変えることができます。

□ 操作 1

TONE MODIFYボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、 TONE MODIFY 設定機能に変わります。

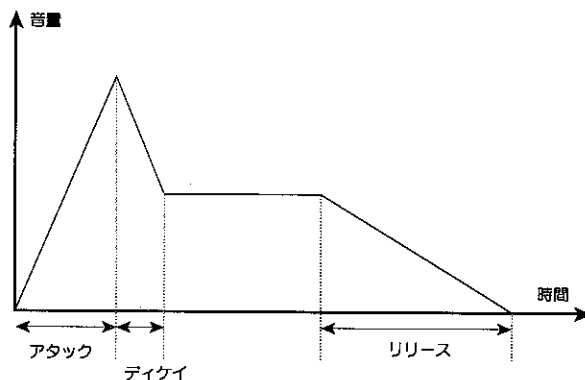
```
ECut Atk Dcy Rls
 +50 -50 +40 -20
```

・-50～0～+50 の範囲で値を設定できます。

□ 操作 2

4つのノブで、CUTOFF/ATTACK/DECAY/RELEASEの値を変更できます。

CUTOFF（カットオフ）	：カットオフの値を上げると音色が明るめになります。
ATTACK（アタック）	：音の立ち上がりの時間を設定します。
DECAY（ディケイ）	：アタック後サスティーンのレベルまでの音量が下がる時間を設定します。
RELEASE（リリース）	：鍵盤を放してから、音が消えるまでの時間を設定します。

★
・音色によっては、 効果が現われない場合があります。
・内蔵音源と MIDI 送信に有効です。
・後述のマルチエディット中に本表示をさせたときは、 上列左端に I 又は E が表示され、 INT、 EXT どちらのノブ操作かを示します。

★
鍵盤を弾いて、発音した後の時間と音量の関係を
グラフに表わすと右記のようになります。

4) MIDI CC#

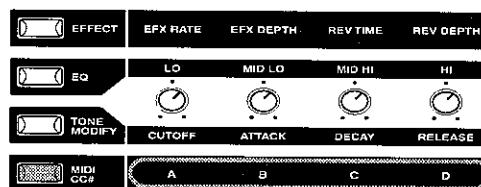
ノブを使ってコントロールチェンジの送信

コントロールチェンジ情報をパネル上の4つのノブで値を変えることができます。
INT セクションには、 関係しません。

□ 操作 1

MIDI CC# ボタンを押して点灯させます。

4つのノブが、 コントロールチェンジの値の設定機能に
変わります。

・CC #は0～114の範囲で値を設定できます。
設定はマルチエディット (P.34 参照)で行います。

□ 操作 2

4つのノブで、アサインされているコントロールチェンジの値を変更できます。

```
C010 011 016 017
   0   0   0   0
```

シングルモードで、 アサインされているコントロールチェンジのパラメータは、 次の通りです。

A : 10 パンポット
B : 11 エクスプレッションペダル
C : 16 汎用操作子 1
D : 17 汎用操作子 2

★
次ページから説明するマルチモードにおいては、EXTのみに有効です。
INTセクションには、この機能がないので、MIDIボタンを押した場合下記の表示となります。

```
CXXX XXX XXX XXX
 ---  ---  ---  ---
```

6. MULTI（マルチ）

マルチモードでは、 各ゾーン毎に内蔵音源やMIDI出力の細かい設定ができます。
本機では、 マルチを1-1,1-2～1-8～8-8までの64のセット番号で管理しており、 工場出荷時には、 あらかじめ64のマルチが保存されています。
自分で設定した内容を保存する場合は、 元の設定は消えてしまいます。
但し、 システムのリセットオールコマンドを行うとで工場出荷時データに復活します。

マルチとして保存できる内容は次の通りです。

★トランスポーズボタンの設定内容（P. 18参照）
★ノブによる設定内容（P. 21参照）
★エフェクト、リバーブの設定内容（P. 19参照）
★エディットの設定内容（P. 26参照）

トランスポーズの設定、ノブの操作による設定、エフェクト／リバーブの設定は、それぞれの説明ページを参照ください。

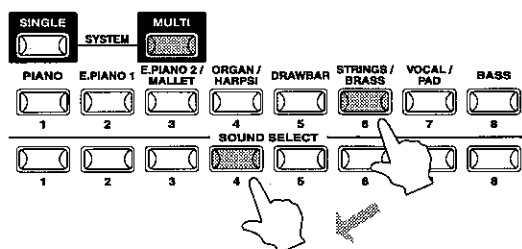
1）マルチの呼び出し方（マルチ・プレイモード）

マルチの呼びだし方は以下の通りです。

□ 操作 1
MULTIボタンを押して点灯させます。
マルチのプレイモードに入ります。

MULTI
1-1MULTI

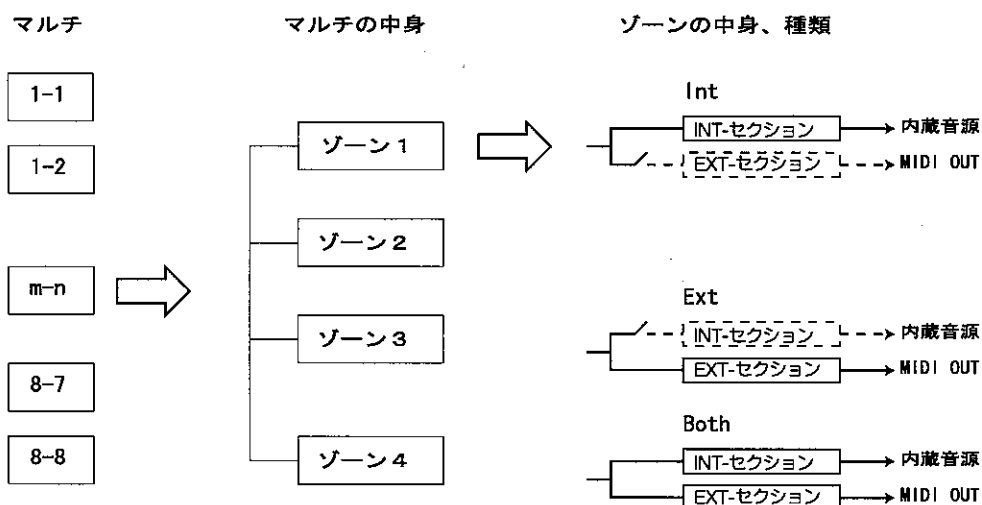
MULTI

□ 操作 2
音色ボタンで呼び出すセット番号を入力します。
6-4を呼び出す場合は、 音色ボタンの上段6ボタンと下段の4ボタンを押します。

MULTI
6-4MULTI

以上で6-4のマルチが呼び出されました。

2) MULTI EDIT（マルチ エディット）

マルチモードでは、各種設定が各ゾーン毎にできます。

マルチは4つのゾーンで構成され、またゾーンはIntとExtというセクションで構成されています。
ゾーンでは、Intだけ、Extだけ、或いは両方（Both）が選択できます。

MULTIボタンの点灯中にMENUボタンを押すとエディットモードになり、各パラメータの設定ができます。
Both選択時はIntとExtの両方のパラメータを設定できます。

◆ EDIT Int

Sound
K.Range Lo/Hi
Vel SW
Vel sens
Transpose
Volume
Damper
Foot sw
Exp Pedal
Modulation
Bender
Pan
Fine Tune
Voicing

◆ EDIT Ext

Prg#, Bank
Tx Channel
K.Range Lo/Hi
Vel SW
Vel sens
Transpose
Volume
Damper
Foot sw
Exp Pedal
Modulation
Bender
Pan
Fine Tune
Knob A/B/C/D
Tx Cutoff
Tx Attack
Tx Decay
Tx Release
Solo
Solo Mode

ここでの項目は、インターナルのみ（INTのみ）、エクスターナルのみ（EXTのみ）、インターナル/エクスターナルそれぞれ（INT/EXT）で設定できるものがあります。

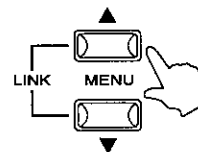
保存作業を行わないと新たな音色を選択したり、電源を切った後、設定内容は消えてしまいます。保存したい場合は、Store Multi（P.38参照）で保存を行ってください。

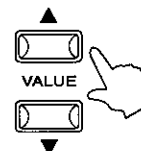
◆ 設定作業

ここでは、 マルチ エディットでの各項目を設定する際の共通作業を説明します。

□ 操作 1

MENUボタンを押して設定項目の画面をディスプレイに表示させます。

MULTIボタン点灯中にMENUボタンを押します。

★
MENUボタンを押してマルチのエディットモードに入った場合は、音色ボタンで音色を設定することができます。
マルチボタンを再度押すとエディットモードから抜け、プレイモードになります。が、新たにマルチを選択するまでは、設定内容はそのままです。

□ 操作 2

VALUEボタンで値を設定します。

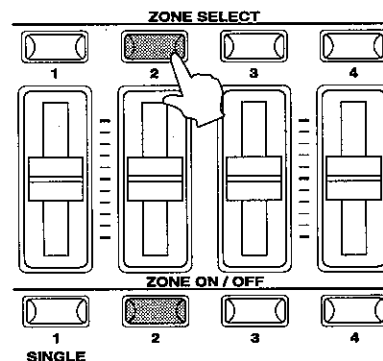
設定値は各設定項目によって異なります。
1つの設定を行ったら、 MENUボタンを押して他の項目の設定をつづけて行うことができます。

□ 操作 3

SELECTボタンで自由に他のゾーンへ移動できます。

エディット中でも、 ZONE SELECTボタンを押すことにより、
他のゾーンへ移動できます。

Bothが選択されているゾーンではInt、Extも自由に移動できます。

エディット中のゾーンのSELECTボタンは点灯しています。
その点灯しているボタンを押すと、 IntからExtパラメーターへ、
或いはExtからIntパラメータへと変わり、 IntとExtの設定内容を
比較するなどに便利です。

□ 操作 4

StoreMulti（P.38参照）で保存を行います。

保存作業を行わないと電源を切った後、 設定内容は消えてしまいます。
又、 エディットを止め、
・エディット前の元のデータに戻したいときは、
　Playモードに行き、 再度そのマルチを選択すれば元のデータに
　戻ります。
・デフォルトデータにしたいときは、
　システムのリセットカレント・コマンドで行います。
・MP9500全体のデータを工場出荷時に戻したいときは、
　システムのリセットオール・コマンドで行います。

◆ Edit Common（エディット コモン）

各ゾーンはInt/Ext/Bothを選択できますが、これをゾーン・モードと呼びます。
マルチのエディットに入ると、最初に各ゾーンのゾーンモードが一覧表示され、各ゾーンの状態が一目でわかります。
この画面は表示のみで、値を変更することはできません。

◇ Zone Mode（ゾーン　モード表示）

```
E 1   2   3   4
 Int Ext Bth Bth
```

1行目の1～4がゾーン番号を示します。左端の文字はＩ又はＥが表示され選択セクションを示します。
上図は　1ゾーン＝Int、2ゾーン＝Ext、3,4ゾーン＝Both、選択ゾーン（ゾーンセレクトボタンが点灯して示している）で選択されているセクションはEXT（LCD上列左端）を示しています。

◇ Zone　Mode（ゾーン　モード）

[設定値：Int/Ext/Both]

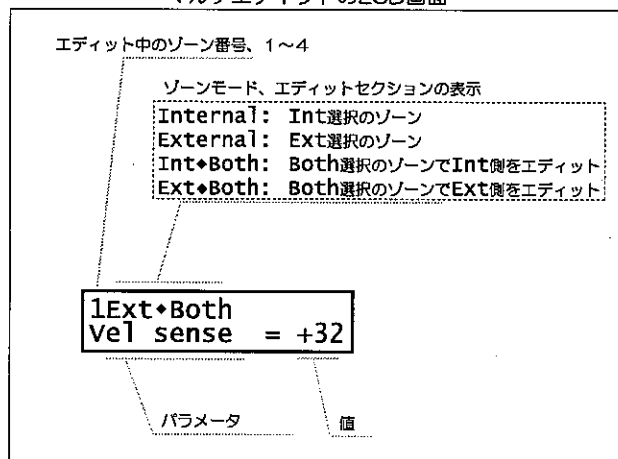
```
I   Zone Mode
 Zone 2     = Int
```

ゾーン・モードを設定します。
上図はゾーン2をIntに設定しています。

◆ Edit Zone（ゾーンエディット）

各ゾーンのセクション設定（Int、Ext、Both）に応じて各パラメータを設定します。
ゾーンには、INTとEXTの2つのパラメータ・グループがあります。
ゾーンモードでINTが選択されていればINT、EXTが選択されていればEXTのパラメータグループが編集できます。
BOTHが選択されていればINTとEXTの両方のパラメータ・グループをエディットします。

以下のエディット・パラメータ説明では
INTのみのパラメータは〈INTのみ〉、EXTのみのパラメータは〈EXTのみ〉、
INTにもEXTにも共通にあるパラメータは〈INT/EXT〉と表示しています。

マルチエディットのLCD画面

◇ Sound（音色設定）〈INTのみ〉

[設定値：内蔵６４音色]

```
2Internal Sound
= Concert Grand
```

内蔵音源の音色を設定します。

音色設定はINTとEXTのどちらを設定しているかで設定項目が異なります。
INTの場合は内蔵の音色名、EXTの場合は以下のプログラムナンバー／バンクMSB/LSB/CHを設定します。

◇ Tx PRG（送信 プログラムナンバー）〈EXTのみ〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext◆Both
TX Prg #  = On
```

マルチが切り替えられたとき、プログラムナンバー値を送信するか（On）送信しかないか（Off）を設定します。

◇ PRG #（プログラムナンバー）〈EXTのみ〉

[設定値：1～128]

```
1Ext◆Both
Prg #      = 001
```

マルチが切り替えられたとき、送信されるプログラムナンバー値を設定します。
但し、TX PRG＝Offの場合は送信しません。又、この設定画面も表示されません。

◇ TX BANK（送信バンクセレクト）〈EXTのみ〉

[設定値：0～127]

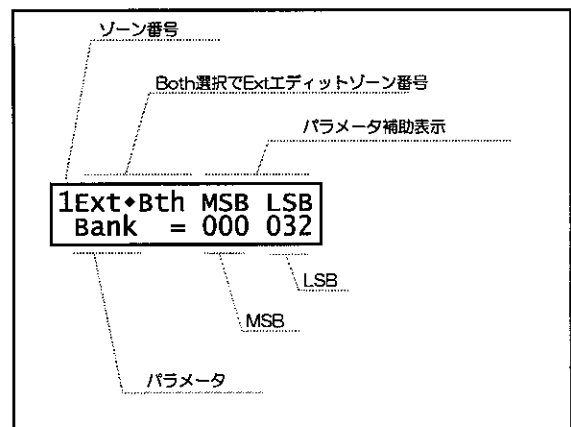
```
1Ext◆Both
TX Bank    = On
```

マルチが切り替えられたとき、プログラムバンクナンバー値を送信するか（On）送信しかないか（Off）を設定します。

◇ TX BANK MSB, LSB（バンクセレクト MSB, LSB）〈EXTのみ〉

[設定値：0～127]

```
1Ext◆Bth MSB LSB
Bank  =  000 032
```

マルチが切り替えられたとき、送信されるプログラムバンクナンバー値の上位（MSB）と下位（LSB）を設定します。
但し、TX BANK＝Offの場合は送信されません。
又、この設定画面も表示されません。
MSBとLSBの設定切り替えはメニューで変更できます。

◇ CH（チャンネル）〈EXTのみ〉

[設定値：1～16]

```
1Ext◆Both
TX Ch        =  1
```

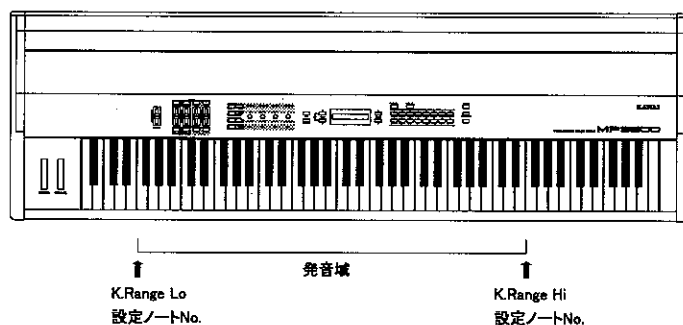
それぞれのゾーンの送信チャンネルを設定します。

◇ K.Range Hi（キー・レンジ・ハイ）/K.Range Lo（キー・レンジ・ロー）〈INT/EXT〉

[設定値：C-2～G8]

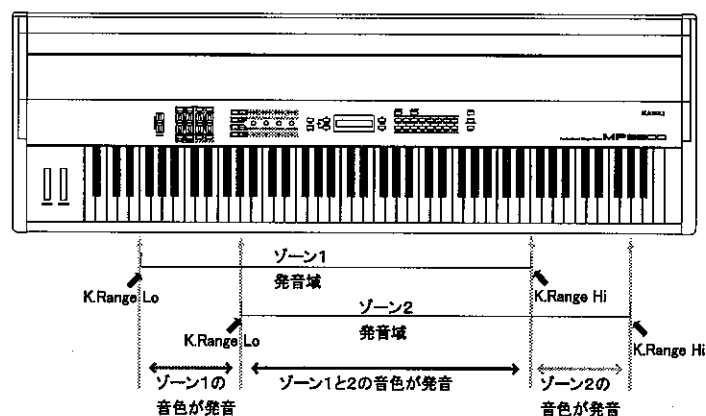
```
2Internal
K.Range Hi = F#8
```

```
2Internal
K.Range Lo = C-2
```

鍵盤上の発音範囲を設定します。
K.Range Hiで設定したノートNo.と、K.Range Loで設定したノートNo.の間の範囲で発音します。

K.Range Hi設定画面よりMENUボタンを押してK.Range Loの設定画面へ移ります。

★
値は、VALUEボタン以外に鍵盤でも設定できます。

●K. Range Hi/Loを組み合わせた使い方

ゾーン1と、ゾーン2セクションにそれぞれK.Range設定した場合は、下図の様な使い方ができます。

◇ Vel SW（ベロシティー スイッチ）〈INT/EXT〉

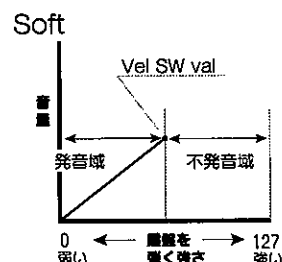
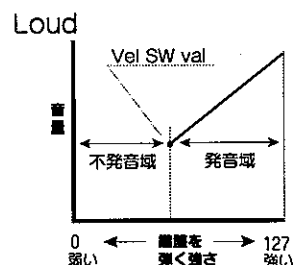
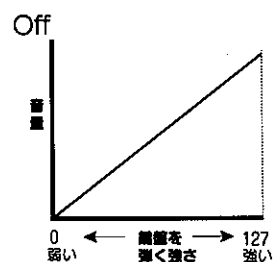
[設定値：Off/Loud/Soft]

```
2Internal
Vel SW      =Loud
```

ベロシティー（鍵盤を弾く強さ）による発音域を設定します。

- ・Off　：通常
- ・Loud　：Vel SW valの値よりも強く鍵盤を弾いた時、発音（MIDI OUT）します。
- ・Soft　：Vel SW valの値よりも弱く鍵盤を弾いた時、発音（MIDI OUT）します。

★
Vel SW valは、次の項目で設定できます。

Off
音量
0 弱い ← 鍵盤を弾く強さ → 127 強い

◇ Vel SW val（ベロシティー スイッチ バリュー）〈INT/EXT〉

[設定値：0〜127]

```
2Internal
Vel SW Val = 80
```

Velo SW（ベロシティー スイッチ）設定したベロシティーによる発音域の上限／下限を設定します。

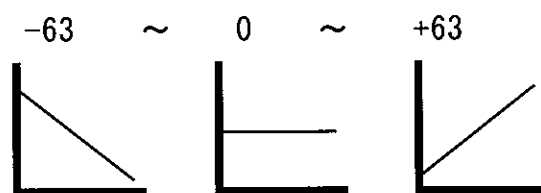
- ・Velo SWをLoudに設定した場合：ベロシティーによる発音域の下限を設定します。
- ・Velo SWをSoftに設定した場合　：ベロシティーによる発音域の上限を設定します。

◇ Vel sense（ベロシティー センス）〈INT/EXT〉

[設定値：-64〜0〜+63]

```
2Internal
Vel Sense   = +32
```

鍵盤タッチを調整します。

マイナスの値にセットすると鍵盤を強く弾くほど音量が小さくなり、プラスの値にセットすると鍵盤を強く弾くほど音量が大きくなります。

縦軸：音量 ／ 横軸：鍵盤を弾く強さ

◇ Transpose（トランスポーズ）〈INT/EXT〉

[設定値：-36〜0〜+36]

```
2Internal
Transpose   =  0
```

トランスポーズの値を半音単位で±3オクターブの範囲を設定できます。
ここでのトランスポーズは、各ゾーン毎に設定する値です。
パネルのトランスポーズボタンで設定するトランスポーズの値は、MP9500全体に影響します。
結果、ゾーンごとのトランスポーズ値とトランスポーズボタンでの設定値の合計の音程が発音されます。

◇ TX Volume（送信　ボリューム）〈EXT〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext◆Both
TX Volume  = On
```

マルチを切り替えた時、ボリューム値をMIDI送信する、しないを設定します。

◇ Volume（ボリューム）〈INT/EXT〉

[設定値：0～127]

```
2Internal
Volume     = 127
```

マルチを切り替えた時、この値が送信されます。但し、前のパラメータTXVolumeがOffに設定されていると、送信されません。同時に、このパラメータは表示されません。
フェーダーで設定した値がここで読めます。

◇ Damper（ダンパー）〈INT/EXT〉

[設定値：On/Off]

```
2Internal
Damper     = On
```

接続したダンパーペダルが、そのゾーンに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。

◇ FootSW（フットスイッチ）〈INT/EXT〉

[設定値：On/Off]

```
2Internal
FootSW     = On
```

接続したフットスイッチが、そのゾーンに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。

◇ ExpPedal（エクスプレッションペダル）〈INT/EXT〉

[設定値：On/Off]

```
2Internal
ExpPedal   = On
```

接続したエクスプレッションペダルが、そのゾーンに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。

◇ Modulation（モジュレーション）〈INT/EXT〉

[設定値：On/Off]

```
2Internal
Modulation = On
```

モジュレーションホイールが、そのゾーンに効くか（On）効かないか（Off）を設定します。

◇ Bender（ベンダー），〈INT/EXT〉

[設定値：On/Off]

```
2Internal
Bender      = On
```

ベンダーが、 そのゾーンに効くか （On） 効かないか （Off） を設定します。

◇ TX Bender Range（送信 ベンダー・レンジ）〈EXT〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TXBendrRng  = On
```

マルチが選択されたとき、 ベンダーレンジ値を送信するか （On）、 送信しかないか （Off） を設定します。
Bender＝Offにすると、 このパラメータは表示されません。

◇ Bender Range（ベンダー レンジ）〈INT/EXT〉

[設定値：(EXT)0〜12 / (INT)0〜7]

```
2Internal
Bender Rng  = 2
```

INT： ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を指定します。
EXT： マルチ変更時に送信するベンダーの変化範囲を指定します。 値の設定と同時にMIDI OUTより送信します。
Tx Bender RangeがOnに設定してあると、 マルチ切り換え時にここで設定した値がMIDI OUTされます。
2つ前のパラメータ、 Bender＝Offにすると、 このパラメータは表示されません。

◇ TX Pan（送信 パン）〈EXT〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TX Pan      = On
```

マルチが選択されたとき、 パンの値を送信するか （On） 送信しかないか （Off） を設定します。

◇ Pan（パン）〈INT/EXT〉

[設定値：L63〜0〜R63]

```
2Internal
Pan         = R10
```

パンポットの値を設定します。 L(Left)の値が大きくなるほど左の音量が増します。 R(Right)の値が大きくなるほど右の音量が増します。

INT： 内蔵音源のパンポットを指定します。
EXT： マルチ変更時に送信するパンポットの値を設定します。 値の設定と同時にMIDI OUTより送信します。
Tx PanでONに設定してあると、 マルチ切り換え時にここで設定した値がMIDI OUTされます。
TX Pan＝Offにすると、 送信されません。 又、 このパラメータは表示されません。

◇ TX Fine Tune（送信 ファイン・チューニング）〈EXT〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TXFineTune = On
```

マルチが選択されたとき、ファインチューニングの値を送信するか（On）送信しないか（Off）を設定します。

◇ Fine（ファインチューニング）〈INT/EXT〉

[設定値：-63~0~+63]

```
2Internal
Fine Tune  = 0
```

INT：セクション間での音程調節を約±1/2半音の間で設定します。
EXT：マルチ変更時に送信する発音音程を指定します。 値の設定と同時にMIDI OUTより送信します。
Tx FineでONに設定してあると、マルチ切り換え時にここで設定した値がMIDI OUTされます。
TX Fine＝Offにすると、送信されず、又、このパラメータも表示されません。

◇ Knob {A~D} CC#（ノブA~D コントロールチェンジNo.）〈EXTのみ〉

[設定値：0~114]

```
1Ext•Both
Knob A CC# = 10
```

送信するコントロールチェンジ番号を設定します。

★
コントロールチェンジ番号については、P.61の表「4.Contorol Change Number(CC#)table」を参照ください。

◇ Tx Knob {A~D}（送信ノブA~D）〈EXTのみ〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TX Knob A  = On
```

マルチ変更時に、ノブ情報を送信をするか（On）しないか（Off）を設定します。

★
Offに設定されている場合でも、ノブを動かせばその値がMIDI OUTより送信されます。

◇ TX Cutoff（送信カットオフ）〈EXTのみ〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TX Cutoff   = On
```

マルチ変更時にカットオフの設定を送信をするか（On）しないか（Off）を設定します。

★
Offに設定されている場合でも、ノブを動かせばその値がMIDI OUTより送信されます。

◇ TX Attack（送信アタック）〈EXTのみ〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TX Attack   = On
```

マルチ変更時にアタックの設定を送信をするか（On）しないか（Off）を設定します。

★
Offに設定されている場合でも、ノブを動かせばその値がMIDI OUTより送信されます。

◇ TX Decay（送信ディケイ）〈EXTのみ〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TX Decay    = On
```

マルチ変更時にディケイの設定を送信をするか（On）しないか（Off）を設定します。

★
Offに設定されている場合でも、ノブを動かせばその値がMIDI OUTより送信されます。

◇ TX Release（送信リリース）〈EXTのみ〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
TX Release = On
```

マルチ変更時にリリースの設定を送信をするか（On）しないか（Off）を設定します。

★
Offに設定されている場合でも、ノブを動かせばその値がMIDI OUTより送信されます。

◇ Voicing（ボイシング）〈INTのみ〉

[設定値：Normal/Mellow/Dynami/Bright]

```
2 Internal
Voicing = Normal
```

ピアノ音色のための効果です。
アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシュミュレートした効果で、次の４種類の中より選べます。

- Nomal（ノーマル）　：通常の設定です。
- Mellow（メロー）　：柔らかめのハンマーをシミュレートした全体にソフトな音色になります。
- Dynami（ダイナミック）：ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
- Bright（ブライト）　：硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。

ピアノ音色のための効果ですが、他の音色にも適用できます。

◇ Solo（ソロ）〈EXTのみ〉

[設定値：On/Off]

```
1Ext•Both
Solo        = On
```

ソロモードのON/OFFを設定します。

◇ Solo Mode（ソロ モード）〈EXTのみ〉

[設定値：Last/Hi/Low]

```
1Ext•Both
Solo Mode  =Last
```

上の項目SoloがONに設定されている時、ソロのモードを指定します

- Last（ラスト）：後に弾いたノート優先のソロ
- Hi（ハイ）　：一番高いノート優先のソロ
- Low（ロー）　：一番低いノート優先のソロ

上の項目SoloがＯｆｆに設定されていると、この設定画面はありません。

7. STORE（ストア）

ここでは、 シングル／マルチ　２つのモードの設定を内部に保存したり、 外部のMIDI機器に送ったりする操作を説明します。

1) Store Single（ストア シングル）

シングルモードで、 ノブで設定した値と、 シングルメニューの設定内容を本体に保存します。

★
マルチモードでは、この設定項目はありません。

□ 操作 1

STOREボタンを押して、Store Single画面を表示します。

SINGLEボタンが点灯しているときにSTOREボタンを押します。

```
Store SINGLE
Press VALUE UP
```

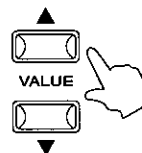
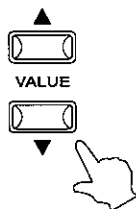
□ 操作 2

VALUE UPボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
Store SINGLE
      sure?
```

キャンセルする場合は、 VALUE DOWNボタンを押します。

□ 操作 3

VALUE UPボタンを押し実行します。

設定が各音色に保存されます。

```
Store SINGLE
Completed!!
```

次回その音色を選択すれば、 音色とともに保存した内容も呼び出されます。

2) Store Multi（ストア マルチ）

ここでは、マルチモードでの設定を本体内部へ保存（ストア）する方法について説明します。
マルチモードで保存作業を行った場合、トランスポーズの設定, ノブで設定した値, マルチメニューで設定した内容を保存します。
本機では、記憶場所（セット番号）を1-1,1-2～1-8～8-8までの64セット装備しています。
この作業を行わないで、他のマルチを選択するとそれまでの設定は消えます。また、電源を入れ直したときも消えます。

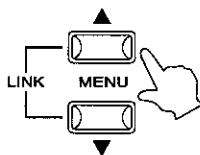
□ 操作 1

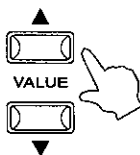
STOREボタンを押して点灯させます。

SINGLEボタンが点灯している時（シングルモード時）にSTOREボタンを押した場合は、MENUボタンを1回押してください。

STORE

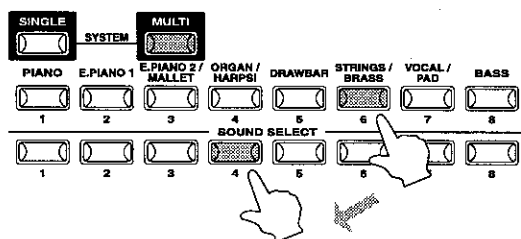
```
Store MULTI
  Rename?
```

マルチの名前を書き換えることができます。
名前を書き換えない場合は、MENU UPボタンを押します。（操作2へ）

名前を書き換える場合は、VALUE UPボタンを押します。

```
 Rename MULTI
Name =  6-4MULTI
```

MENU UP/DOWNボタンを押してカーソルを移動させ、VALUE UP/DOWNボタンで文字を選択していきます。

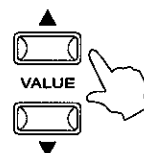
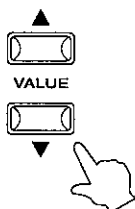
□ 操作 2

音色ボタンで記憶するセット番号を押します。

6-4 に記憶させる場合は、 上列の6ボタンと下列の4ボタンを押します。

```
Store MULTI
to 6-4 6-4MULTI
```

□ 操作 3

VALUE UPボタンを押します。

設定したセット番号に記憶しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

キャンセルする場合は、 VALUE DOWN ボタンを押します。

□ 操作 4

さらにVALUE UPボタンを押します。

指定したセット番号にパネル状態が記憶されました。

```
Store MULTI
Completed!!
```

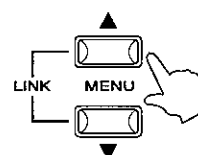
3) Block Dump 1,2（ブロックダンプ　1，2）

本機で設定した全マルチ音色を２回に分けて外部シーケンサー等に送信します。本機で設定した大事なデータを他の機器に記憶させておくことができます。
Block　Dumpl 1が前半 （1－1～4－8） のマルチ音色、 Block　Dump 2が後半 （5－1～8－8） のマルチ音色をまとめて送信します。

□ 操作 1

STOREボタンを押した後、MENU UPボタンを押してDump All画面を表示します。

```
Block Dump 1
Press VALUE UP
```

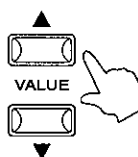
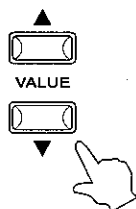
□ 操作 2

VALUE UPボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

VALUE

```
Block Dump 1
         Sure?
```

キャンセルする場合は、 VALUE DOWNボタンを押します。

□ 操作 3

VALUE UPボタンを押します。

Block　Dumpが実行されます。

```
Block Dump 1
Completed!!
```

STORE

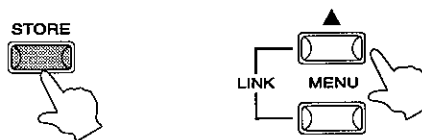
4) Dump Current（ダンプ カレント）

現在設定中の内容を外部シーケンサー等に送信します。
シングルモードでは、現在設定中の音色の設定内容を、マルチモードでは現在設定中のマルチの内容を送信します。

□ 操作 1

STOREボタンを押した後、MENU UPボタンを押してDump Current画面を表示します。

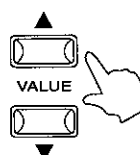
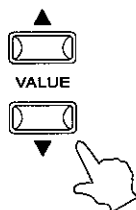
```
Dump Current
Press VALUE UP
```

□ 操作 2

VALUE UPボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
Dump Current
        Sure?
```

キャンセルする場合は、VALUE DOWNボタンを押します。

□ 操作 3

VALUE UPボタンを押します。

Dump Currentが実行されます。

```
Dump Current
Completed!!
```

STORE

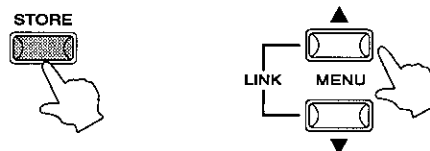
5) Reset Current（リセット カレント）

現在設定中の内容をデフォルトの値に戻します。
シングルモードでは、 現在設定中の音色の設定内容を、 マルチモードでは現在設定中のマルチの内容をデフォルト値に戻します。

□ 操作 1

STOREボタンを押した後、MENU UPボタンを押してReset Current画面を表示します。

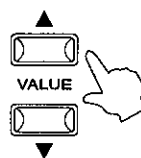
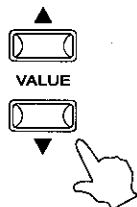
```
 Reset Current
Press VALUE UP
```

□ 操作 2

VALUE UPボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
 Reset Current
         Sure?
```

キャンセルする場合は、 VALUE DOWNボタンを押します。

□ 操作 3

VALUE UPボタンを押します。

Reset Currentが実行されます。

```
 Reset Current
 Completed!!
```

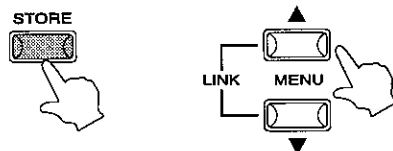
6) Reset All（リセット オール）

本機で設定したシングルと64のマルチすべてを工場出荷時の状態に戻します。
シングルモードとマルチモード両方から操作できます。

□ 操作 1

STOREボタンを押した後、MENU UPボタンを押してReset All画面を表示します。

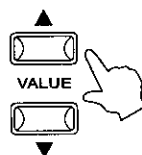
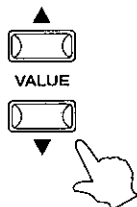
```
Reset All
Press VALUE UP
```

□ 操作 2

VALUE UPボタンを押します。

実行しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
 Reset All
       Sure?
```

キャンセルする場合は、 VALUE DOWNボタンを押します。

□ 操作 3

VALUE UPボタンを押します。

Reset Allが実行されます。

```
 Reset All
 Completed!!
```

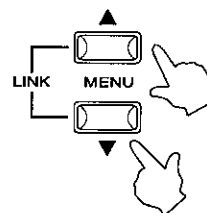
8. LINK（リンク）

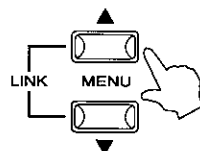
1）LINK設定

本機では、 シングルモードでの６４のシングル、 マルチモードでの64のマルチがあります。
これらの内、 32セット （No.1～32） を選んで、 呼び出す順番に並べておくことができます。

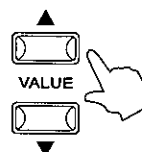
□ 操作 1
MENU-UP/DOWNボタンを同時に押します。

リンクモードに入ります。

■マルチ

■シングル

□ 操作 2
MENUボタンでNo.1～32の順番を選択します。

□ 操作 3
VALUEボタンで64のマルチと６４の音色を設定します。

ディスプレイ２行目に設定内容が表示されます。

シングルの設定は、 SINGLEボタン点灯時、 音色ボタンを押して設定できます。
マルチの設定は、 MULTIボタン点灯時、 音色ボタンでマルチナンバーを
入力して設定できます。

□ 操作 4
MENU-UP/DOWNボタンを同時に押すとリンクモードから抜けます。

★
演奏時に、操作1でリンクモードに入れれば、操作2で、あらかじめ設定しておいたシングルモードでの各音色の設定と、マルチを呼び出すことができます。

★
FSWでリンクアップさせることもできます。 （P.49参照）

★
リンク設定の内容は、Store Link（ストアリンク） （P.45参照）で保存作業を行わないで電源を切ると消えてしまいます。

2) Store Link（ストア リンク）

リンク設定も、 シングルやマルチと同様に保存 （ストア） することができます。

□ 操作 1

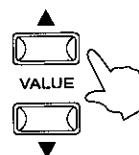
STOREボタンを押して点灯させます。

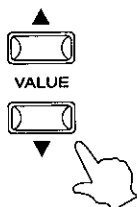
リンクモードに入っている時にSTOREボタンを押します。
Store Link画面が表示されます。

```
Store LINK
Press VALUE UP
```

□ 操作 2

VALUE UPボタンを押します。

設定したセット番号に記憶しても良いか確認のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
Store LINK
     Sure?
```

キャンセルする場合は、 VALUE DOWNボタンを押します。

□ 操作 3

さらにVALUE UPボタンを押します。

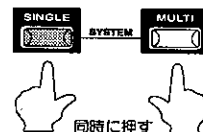
指定したセット番号にパネル状態が記憶されました。

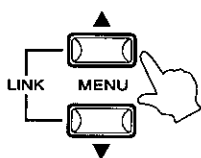
```
Store LINK
Completed!!
```

9. SYSTEM（システム）

システムモードでは、本機の全体にかかわる基本設定を行います。

SINGLEボタンとMULTIボタンを同時に押すとシステムモードへ入ります。

システムモードから出るには、SINGLEボタンかMULTIボタンのいずれか一つを押せば、押したモードとなり、システムモードから出ます。

1) SYSTEM MENU（システム メニュー）

SINGLEボタンとMULTIボタンの二つのボタンが点灯中にMENUボタンを押していくと、設定項目を選択することができます。

- System CH
- Touch
- Temperament
- SysTune
- FootSW CC#
- ExpPdl CC#
- Local
- RX Ch 1 ～ 1 6 Mute
- LCD Contrast

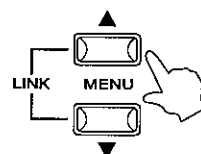
システムでの設定内容は、システムから抜けるときに自動的に保存されます。

◆ 設定作業

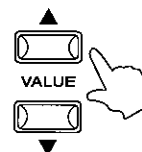
ここでは、システム メニューでの各項目を設定する際の共通作業を説明します。

□ 操作 1

MENUボタンを押して設定項目の画面をディスプレイに表示させます。

SINGLE/MULTI両ボタンが点灯中にMENUボタンを押します。

□ 操作 2

VALUEボタンで値を設定します。

値は各パラメーターによって範囲が異なります。
1つの設定を行ったら、MENUボタンを押して他の項目の設定をつづけて行うことができます。

◆ システムエディット

◇ System CH（システム チャンネル）

[設定値：1～16（CH）]

```
     SYSTEM
System Ch   =  1
```

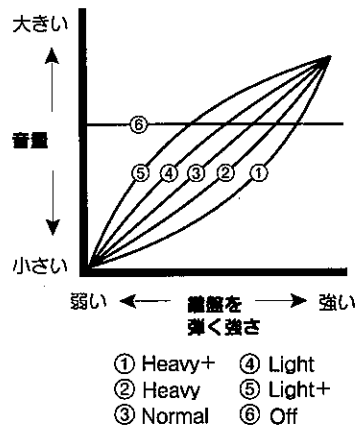
MIDIシステムチャンネルを設定します。
システムエクスクルーシブ送受信時に使われます。

◇ Touch (タッチ)

[設定値： Heavy+/Heavy/Normal/Light/Light+/Off/User1/User2]

```
   SYSTEM
Touch =  Normal
```

鍵盤のタッチの強さを調節します。

- Heavy（ヘビー）：強いタッチで弾くと大きな音が出ます。指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。
- Normal（ノーマル）：アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
- Light（ライト）：弱いタッチで弾いても大きな音がでます。オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
- Off（オフ）：タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
- User 1, 2（ユーザー）：ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

ユーザータッチカーブ作成

```
Press STORE
Touch =  User 1
```

ユーザータッチカーブ作成機能とは、
ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

前の項、 Touchでユーザーを選択すると、 メニューアップでこの画面になります。

□ 操作 1

STOREボタンを押します

```
Start Playing
Soft → Loud
```

□ 操作 2

鍵盤を弾きます。

適当な鍵盤を弱打から強打まで弾いてください。

```
Press STORE
When finished
```

上記メッセージが画面に表示されたら入力を終えてください。

□ 操作 3

STOREボタンを押します。

```
  analysis
  completed
```

上記メッセージが画面に表示されたら完了です。
鍵盤を弾いた指の力に合わせて、 タッチカーブが作成されました。

◇Temperament（音律）

[設定値：Equal, Stretch, Pure Maj, Pure Min, Pythagor, Meantone, Werkmeis, Kirnberg, User]

```
  SYSTEM
Tempr = Stretch
```

MP9500全体のチューニング曲線を設定します。

- Equal ：平均率（一切ストレッチ曲線にはなりません。）
- Stretch ：ピアノ音色が選択された時、ストレッチ曲線になります。レイヤー・スプリット等で2つの音色が選択されているような時は片方がピアノ音色であれば、もう片方のピアノ以外の音色もストレッチとなります。
  ※ストレッチ曲線：ピアノではより自然な響きを得る為、平均律に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。これをストレッチ曲線といいます。
- Pure Maj ：純正律（長調）。３度と５度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
- Pure Min ：純正律（短調）。純正律は長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
- Pythagor ：Pytagorean（ピタゴラス音律）。５度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
- Meantone ：Meantone（中全音律）。３度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の５度が著しく不協和であることを改良したので、平均律よりも和音が美しく響きます。
- Werkmeis ：Werkmeister（ヴェルクマイスター第Ⅲ法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、純正３度は存在せず、平均律的な平坦な調律法です。
- Kirnberg ：Kirnberger（キルンベルガー第Ⅲ法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、３度が純正に響く調と５度が純正に響く調を併せ持つことで調性の性格を反映しることができる調律法です。
- User ：音律をユーザー設定できます。下記参照。

◇Tuning Key（主音）

[設定値： C ～ B]

```
  SYSTEM
Tempr Key  = C
```

平均律、ストレッチ以外の音律は調号に合わせた音律です。演奏する曲の調号に合わせます。
一つ前のパラメータで平均律、ストレッチを設定した場合は、このパラメータは表示されません。

◇Tuning C~B（チューニング）

[設定値：－５０～＋５０]

```
  SYSTEM
C     = +50
```

～

```
  SYSTEM
B     = +50
```

ユーザー音律が作成できます。
オクターブ間の１２音のピッチを個々に微妙に設定できます。
二つ前のパラメータ、TuningCurveをUserに設定した時だけ、このパラメータは表示されます。

◇ SysTune（システム チューニング）

[設定値：427.0～453.0（Hz）]

```
  SYSTEM
SysTune  = 440.0
```

内部音源のチューニングを行います。Extには影響しません。

◇ FootSW CC#（フットスイッチ ・ コントロールチェンジ）

[設定値：0～114, LNK]

```
   SYSTEM
FootSW CC# = 10
```

リアパネルのFSW端子に接続した、 フットスイッチのコントロールチャンジナンバーを指定します。
「LNK」 に設定すると、 リンクモード時にフットスイッチを踏むことで、 リンクNo.を増やしていくことができます。

★
コントロールチェンジ番号については、P.61の表「4.Control Change Number(CC#)table」を参照ください。
★
FootSW CC#、ExpPdl CC#で右下表のコントロールチェンジナンバーを設定したときに限り、外部への送信と同時に内部音源もコントロールします。

◇ ExpPedal CC#（エクスプレッション ・コントロールチェンジ）

[設定値：0～114, AFT]

```
   SYSTEM
ExpPdl CC# = 11
```

リアパネルのEXP端子に接続した、 エクスプレッションペダルのコントロール
チェンジナンバーを指定します。
「AFT」 に設定するとエクスプレッションペダルによりアフター
タッチ情報を送信します。

★
コントロールチェンジ番号については、
P.61の表「4.Control Change Number(CC#)table」を参照ください。
★
FootSW CC#、ExpPdl CC#で右表のコントロールチェンジナンバーを設定したときに限り、
外部への送信と同時に内部音源もコントロールします。

内部音源に有効なCC#

CC#	Function
1	Modulation Wheel
7	Volume
10	Pan
11	Expression Controller
64	Damper Pedal
66	Sostenuto
67	Soft Pedal

◇ Local On/Off（ローカル オン/オフ）

[設定値：On/Off]

```
   SYSTEM
Local      = On
```

本体の鍵盤を弾いて音を出すか （On）、 出さないか （Off） を設定します。
オフに設定した状態で電源を立ち上げると警告表示が出ます。

◇ RCV ch Mute（受信チャンネル・ミュート）

[設定値：PLAY/MUTE]

```
   SYSTEM                 SYSTEM
RX Ch 1   = Play  ～  RX Ch 16  = Play
```

受信チャンネルのミュートのオン/オフを設定します。
MENUボタンを押して受信チャンネルを選び、 VALUEボタンでPLAY/MUTE （オン/オフ） を設定します。
マルチモードで有効です。 シングルモードでは受信CHは単一です。

◇ LCD Contrast（LCD コントラスト）

[設定値：1～10]

```
   SYSTEM
Contrast   = 10
```

LCDのコントラスト （明るさ） を調節します。
数値が大きい程、 文字が鮮明になります。

10. その他

◆ MIDI IN

本機をMIDIで発音させる場合、パネルの状態がシングルかマルチモードにより変わります。

	プログラムナンバー	
	1～64	65～128
シングルモード	TX/RX Chのみ 64音色へ対応	Sys Chnannelのみ MULTI音色へ対応
マルチモード	全Ch受信 64音色へ対応	Sys Chnannelのみ MULTI音色へ対応

シングルモードからマルチモードへは上記プログラムナンバーで移行可能です。
一方、マルチモードから、シングルモードへはシステムエクスクルーシブで移行できます。(P.58参照)

シングル64音色とプログラム番号は次ページ参照願います。

64マルチとプログラム番号は下記のとおりです。、

マルチプログラムナンバー

No.	Prg#	No.	Prg#	No.	Prg#	No.	Prg#
1-1	65	2-1	73	3-1	81	4-1	89
1-2	66	2-2	74	3-2	82	4-2	90
1-3	67	2-3	75	3-3	83	4-3	91
1-4	68	2-4	76	3-4	84	4-4	92
1-5	69	2-5	77	3-5	85	4-5	93
1-6	70	2-6	78	3-6	86	4-6	94
1-7	71	2-7	79	3-7	87	4-7	95
1-8	72	2-8	80	3-8	88	4-8	96
5-1	97	6-1	105	7-1	113	8-1	121
5-2	98	6-2	106	7-2	114	8-2	122
5-3	99	6-3	107	7-3	115	8-3	123
5-4	100	6-4	108	7-4	116	8-4	124
5-5	101	6-5	109	7-5	117	8-5	125
5-6	102	6-6	110	7-6	118	8-6	126
5-7	103	6-7	111	7-7	119	8-7	127
5-8	104	6-8	112	7-8	120	8-8	128

1 PIANO

No.	LCD表示	PRG#
1	Concert Grand	1
2	Studio Grand	2
3	Mellow Grand	3
4	Modern Piano	4
5	Rock Piano	5
6	Jazz Grand	6
7	New age Piano	7
8	Honky Tonk	8

2 E.PIANO1

	LCD表示	PRG#
1	Classic EP	9
2	Modern EP	10
3	60' s EP	11
4	Modern EP 2	12
5	Modern EP 2	13
6	60' s EP 2	14
7	Legend EP	15
8	Electric Grand	16

3 E.PIANO2/ MALLET

	LCD表示	PRG#
1	Classic EP 2	17
2	Classic EP 3	18
3	Crystal EP	19
4	Tremolo EP	20
5	Clavinet	21
6	Synth Clavinet	22
7	Vibraphone	23
8	Marimba	24

4 ORGAN/ HARPSI

	LCD表示	PRG#
1	Harpsichord	25
2	Harpsichord Oct	26
3	Church Organ	27
4	Reeds	28
5	Diapason	29
6	Mixer	30
7	Celeste	31
8	Flute Celeste	32

5 DRAWBAR

No.	LCD表示	PRG#
1	Rock Organ	33
2	Be 3	34
3	Drawbar	35
4	Drawbar 2	36
5	Hi/Lo	37
6	2 2/3' Perc	38
7	4' Perc	39
8	Key Click	40

6 STRINGS/ BRASS

	LCD表示	PRG#
1	String Pad	41
2	Slow Strings	42
3	String Ens	43
4	Synth String	44
5	Brass Section	45
6	Synth Brass 1	46
7	Synth Brass 2	47
8	Jump Brass	48

7 VOCAL/ PAD

	LCD表示	PRG#
1	Choir aahs	49
2	Itopia	50
3	Synth Vocals	51
4	New Age Pad	52
5	Atmosphere	53
6	Bowed Pad	54
7	Halo Pad	55
8	Brightness	56

8 BASS

	LCD表示	PRG#
1	Acc Bass	57
2	ACC Bass & Ride	58
3	Finger Bass	59
4	Finger Slap Bass	60
5	Pick Bass	61
6	Fretless Bass	62
7	Synth Bass 1	63
8	Synth Bass 2	64

◆ **鍵盤**	88鍵（木製、AWAグランドプロ、ベロシティー付き）
◆ **ゾーン数**	4
◆ **音色**	64音色
◆ **同時発音数**	最大64音
◆ **エフェクト**	リバーブ：7タイプ、エフェクト：21タイプ、4バンドイコライザー
◆ **インターナルメモリー**	マルチ：64　/　シングル：64
◆ **ディスプレイ**	16桁2行　（バック照明付き）
◆ **規定出力レベル**	出力端子（フィックスド出力）：-6dBm 出力端子（ノーマル出力）：0dBm
◆ **出力インピーダンス**	出力端子（フィックスド出力）：600Ω 出力端子（ノーマル出力）：1KΩ
◆ **推奨負荷インピーダンス**	出力端子（フィックスド出力）：600Ω以上 出力端子（ノーマル出力）：10KΩ以上
◆ **接続端子**	出力端子（フィックスド出力）：キャノン型バランス出力 出力端子（ノーマル出力）：1/4inchノーマル型 ヘッドホン端子（ステレオ） MIDI端子：IN,OUT,THRU ダンパー/ソフトペダルジャック：F-2r用 FSWジャック：フットSW F-1用 EXPジャック：エクスプレッションペダル V-20X用 ACインレット
◆ **電源**	AC100V (50/60Hz)
◆ **消費電力**	15W
◆ **寸法/重量**	[W×D×H]　1466×442×189（mm）/　32（Kg）
◆ **付属品**	譜面台、電源コード、ダンパー/ソフトペダル（F-2r）、取扱説明書

MP9500 MIDI Implementation

Version 1.0   2001 Dec 10

Contents

1. Recognized Data

1.1 Channel Voice message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 - 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 - 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 - 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 - 127)

Control Change
Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Modulation depth :00H - 7fH(0 - 127) Default = 00H

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN, see RPN/NRPN chapter :00H - 7fH(0 - 127)

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Volume :00H - 7fH(0 - 127) Default = 7fH

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Panpot :00H - 40H - 7fH(left - Center - right) Default = 40H(center)

```
Expression
        Status          2nd Byte        3rd Byte
        BnH             0bH             vvH

        n=MIDI channel number           :0H-fH(ch.1 - ch.16)
        vv = Expression                 :00H - 7fH(0 - 127)         Default = 7fH

Damper Pedal
        Status          2nd Byte        3rd Byte
        BnH             40H             vvH

        n=MIDI channel number           :0H-fH(ch.1 - ch.16)
        vv = Control Value              :00H - 7fH(0 - 127)         Default = 00H
                                        0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON

Soft Pedal
        Status          2nd Byte        3rd Byte
        BnH             43H             vvH

        n=MIDI channel number           :0H-fH(ch.1 - ch.16)
        vv = Control Value              :00H - 7fH(0 - 127)         Default = 00H
                                        0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON

Sound controllers #3-6
        Status          2nd Byte        3rd Byte
        BnH             48H             vvH    Release time
        BnH             49H             vvH    Attack time
        BnH             4aH             vvH    Cutoff
        BnH             4bH             vvH    Decay time

        n=MIDI channel number           :0H-fH(ch.1 - ch.16)
        vv = Control Value              :00H - 7fH(0 - 127)         Default = 40H


Common Effect
        Status          2nd Byte        3rd Byte
        BnH             5bH             vvH     Reverb depth
        BnH             5cH             vvH    Rotary speaker speed(0-63:Slow,64-127:Fast)
                                               Only when rotary speaker selected
        BnH             5dH             vvH     Effect depth

        n=MIDI channel number           :0H-fH(ch.1 - ch.16)
        vv = Control Value              :00H - 7fH(0 - 127)


NRPN MSB/LSB
        Status          2nd Byte        3rd Byte
        BnH             63H             mmH
        BnH             62H             llH

        n=MIDI channel number           :0H-fH(ch.1 - ch.16)
        mm=MSB of the NRPN parameter number
        ll=LSB of the NRPN parameter number

        NRPN numbers implemented in MP9500 are as follows
        NRPN # Data
        MSB LSB         MSB     Function & Range
        01H 20H         mmH     Cutoff offset
                                mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)

        01H 63H         mmH     Attack time offset
                                mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)

        01H 64H         mmH     Decay time offset
                                mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)

        01H 66H         mmH     Release time offset
                                mm:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)

                * Ignoring the LSB of data Entry
                * It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the dcf.
```

その他

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm=MSB of the RPN parameter number
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemted in K5000 series are the followings

RPN # MSB LSB	Data MSB	Function & Range	
00H 00H	mmH	Pitch bend sensitivity mm:00H - 07H(0 - 7 half tone) ll:Ignored(as 00H)	Default = 02H
00H 01H	mmH	Master fine tuning mm,ll:00 00H - 40 00H - 7f 7f (-8192x100/8192 - 0 +8192x100/8192 cent)	
00H 02H	mmH	Master coarse tuning mm:28H - 40H - 58H(-24 - 0 - +24 half tone) ll:Ignored(as 00H)	
7fH 7fH	--	RPN NULL	

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
pp=Program number :00H - 0fH(Prog#1 - prog#16) Default = 00H
:10H - 7fH(prog#1)

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00 - 7f 7fH(-8192 - 0 - +8192) Default = 40 00H(center)

1.2 Channel Mode Message

All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)

1.3 System Real time Message

Active sensing

Status
FEH

2.Transmitted Data

2.1 Channel Voice message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 - 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 - 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 - 127)

Control Change

Bank Select

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           00H           mmH
BnH           20H           llH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm=Bank Number MSB   :00H - 7fH(0 - 127)
ll=Bank Number LSB          :00H - 7fH(0 - 127)
```

Modulation

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           01H           vvH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Modulation depth       :00H - 7fH(0 - 127)
```

Data Entry

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           06H           mmH
BnH           26H           llH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN, see RPN/NRPN chapter:00H - 7fH(0 - 127)
```

Volume

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           07H           vvH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Volume                 :00H - 7fH(0 - 127)        Default = 7fH
```

Panpot

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           0aH           vvH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Panpot                 :00H - 7fH(0 - 127)        Default = 40H
```

Expression

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           0bH           vvH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Expression             :00H - 7fH(0 - 127)        Default = 7fH
```

Damper Pedal

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           40H           vvH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value          :00H - 7fH(0 - 127)        Default = 00H
                            0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON
```

Soft Pedal

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           43H           vvH

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value          :00H - 7fH(0 - 127)        Default = 00H
                            0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON
```

Sound controllers #3-6

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           48H           vvH   Release time
BnH           49H           vvH   Attack time
BnH           4aH           vvH   Cutoff
BnH           4bH           vvH   Decay time

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value   vv:0eH - 40H - 72H(-50 - 0 +50)          Default = 40H
```

Common Effect

```
Status        2nd Byte      3rd Byte
BnH           5bH           vvH    Reverb depth
BnH           5cH           vvH   Rorary speaker speed(0-63:Slow,64-127:Fast)
                                  Only when rotary speaker selected
BnH           5dH           vvH    Effect2 depth

n=MIDI channel number       :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv = Control Value          :00H - 7fH(0 - 127)
```

その他

NRPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm=MSB of the NRPN parameter number
ll=LSB of the NRPN parameter number

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1-ch.16)
mm=MSB of the RPN parameter number
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemted in MP9000 are the followings

RPN # MSB LSB	Date MSB	Function & Range	
00H 00H	mmH	Pitch bend sensitivity mm:00H-0cH(0-12 half tone) ll:00H	Default=02H
7fH 7fH	--	RPN NULL	

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
pp=Program number :00H - 7fH Default = 00H

After Touch

Status	2nd Byte
DnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
pp=Value :00H - 7fH Default = 00H
*Sending only when EXP CC#=AFT

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00 - 7f 7fH(-8192 - 0 - +8192) Default = 40 00H(center)

2.2 Channel Mode Message

2.3 System Real time Message

Active sensing

Status
FEH

その他

MP9500 can receive these dump data, and also can transmit by the panel operation in Store switch.

3.1 Sys-EX FORMAT

a: Dump CURRENT
Format :F0 40 <ch> 20 00 0C <DATA> F7
<ch> :MIDI ch (00~0F)
<DATA> :Multi (Single) data in edit buffer or to edit buffer

The structure of the one Multi (Single) patch
(common DATA) + (Zone 1,2,3,4 Int DATA) + (Zone 1,2,3,4 Ext DATA) + (Only_for_Sound DATA)

b: Block Dump 1(Multi 1-31)
Format :F0 40 <ch> 21 00 0C 40 <DATA> F7
<ch> :MIDI ch (00~0F)
<DATA> :All Multi 1~31
Multi 1-1, Multi 1-2, Multi 1-3 ··· Multi 4-7, Multi 4-8

The structure of the one Multi patch
(common DATA) + (Zone 1,2,3,4 Int DATA) + (Zone 1,2,3,4 Ext DATA) + (Only_for_Sound DATA)

c: Block Dump 2(Multi 32-64)
Format :F0 40 <ch> 21 00 0C 41 <DATA> F7
<ch> :MIDI ch (00~0F)
<DATA> :All Multi 1~31
Multi 5-1, Multi 5-2, Multi 5-3 ··· Multi 8-7, Multi 8-8

The structure of the one Multi patch
(common DATA) + (Zone 1,2,3,4 Int DATA) + (Zone 1,2,3,4 Ext DATA) + (Only_for_Sound DATA)

d : Program change with Mode Change
Format : F0 40 <ch> 30 00 0C <DATA> F7
<ch> : MIDI ch (00∼0F)
<DATA> : program no.
0 ∼ 63 : Single 64
64∼127 : Multi 64

3.2 Data Format

The structure of the one Multi(Single) patch
(common DATA) + (Zone 1,2,3,4 Int DATA) + (Zone 1,2,3,4 Ext DATA) + (Only_for_Sound DATA)

3.2.1 COMMON DATA

No.		VALUE
1	part_sel	0-3 (Zone 1-4)
2	both_sel 1	1,2 (Int,Ext)
3	both_sel 2	1,2 (Int,Ext)
4	both_sel 3	1,2 (Int,Ext)
5	both_sel 4	1,2 (Int,Ext)
6	transpose_sw	0,1 (off,on)
7	transpose_value	40~64~86(-24~0~+24)
8	zone1_mode	0,1,2 (0:BOTH,1:INT,2:EXT)
9	zone2_mode	0,1,2 (0:BOTH,1:INT,2:EXT)
10	zone3_mode	0,1,2 (0:BOTH,1:INT,2:EXT)
11	zone4_mode	0,1,2 (0:BOTH,1:INT,2:EXT)
12	zone1_sw	0,1 (0:off,1:on)
13	zone2_sw	0,1 (0:off,1:on)
14	zone3_sw	0,1 (0:off,1:on)
15	zone4_sw	0,1 (0:off,1:on)
16	knob_mode	0-3(Effect,EQ,tone,CC#)
17	eq1	58~64~70(-6~0~+6)
18	eq2	58~64~70(-6~0~+6)
19	eq3	58~64~70(-6~0~+6)
20	eq4	58~64~70(-6~0~+6)
21	efx_type	0~20
22	efx_rate	0~127
23	rev_type	0~6
24	rev_rate	0~127
25	Name 1st	ASCII
26	Name 2nd	ASCII
27	Name 3rd	ASCII
28	Name 4th	ASCII
29	Name 5th	ASCII
30	Name 6th	ASCII
31	Name 7th	ASCII
32	Name 8th	ASCII

3.2.2 ZONE1～4 Internal data

No.	PARAMETER	VALUE
1	tone_no	0~15
2	K.range_lo	0~127(a0~c8)
3	K.range_hi	0~127(a0~c8)
4	velo_sw_type	0~2(off,loud,soft)
5	velo_sw_value	0~127
6	velo_sense	1~64~127(-63~0~+63)
7	transpose	28~64~100(-36~0~+36)
8	part_sw	0,1 (off,on)
9	effect_sw	0,1 (off,on)
10	reverb_sw	0,1 (off,on)
11	damper_sw	0,1 (off,on)
12	FSW_sw	0,1 (off,on)
13	EXP_sw	0,1 (off,on)
14	modwheel_sw	0,1 (off,on)
15	bender_sw	0,1 (off,on)
16	level_sw	0,1 (off,on)
17	level	0~127
18	panpot	1~64~127(L63~0~R63)
19	coarsetune	40~64~88(-24~0~+24)
20	finetune	1~64~127(-63~0~+63)
21	rev_send	0~127
22	efx_send	0~127
23	bend_range	0~7
24	cutoff	14~64~114(-50~0~+50)
25	attack	14~64~114(-50~0~+50)
26	decay	14~64~114(-50~0~+50)
27	release	14~64~114(-50~0~+50)
28	voicing	0~3(Normal,Mellow,Dynamic,Bright)

3.2.3 ZONE1～4 External data

No.	PARAMETER	VALUE
1	k.range_lo	0~127(a0~c8)
2	k.range_hi	0~127(a0~c8)
3	velo_sw_type	0~2(off,loud,soft)
4	velo_sw_value	0~127
5	velo_sense	1~64~127(-63~0~+63)
6	transpose	40~64~88(-24~0~+24)
7	part_sw	0,1 (off,on)
8	damper_sw	0,1 (off,on)
9	FSW_sw	0,1 (off,on)
10	EXP_sw	0,1 (off,on)
11	modwheel_sw	0,1 (off,on)
12	bender_sw	0,1 (off,on)
13	tx_ch	0~15(1~16ch)
14	tx_prog_sw	0,1 (off,on)
15	tx_prog_no	0~127(1~128)
16	tx_bank_sw	0,1 (off,on)
17	tx_bank_lo	0~127
18	tx_bank_hi	0~127
19	tx_level_enable_sw	0,1 (off,on) *use only single mode
20	tx_level_sw	0,1 (off,on)
21	tx_level	0~127
22	tx_knobA_sw	0,1 (off,on)
23	tx_knobA_no	0~114
24	tx_knobA_value	0~127
25	tx_knobB_sw	0,1 (off,on)
26	tx_knobB_no	0~114
27	tx_knobB_value	0~127
28	tx_knobC_sw	0,1 (off,on)
29	tx_knobC_no	0~114
30	tx_knobC_value	0~127
31	tx_knobD_sw	0,1 (off,on)
32	tx_knobD_no	0~114
33	tx_knobD_value	0~127
34	panpot	1~64~127(L63~0~R63)
35	coarsetune	40~64~88(-24~0~+24)
36	finetune	1~64~127(-63~0~+63)
37	rev_send	0~127
38	efx_send	0~127
39	bend_range	0~12
40	cutoff	14~64~114(-50~0~+50)
41	attack	14~64~114(-50~0~+50)
42	decay	14~64~114(-50~0~+50)
43	release	14~64~114(-50~0~+50)
44	solo_sw	0,1 (off,on)
45	solo_mode;	0,1,2(last,hi,lo)
46	tx_pan_sw;	0,1 (off,on)
47	tx_coarse_sw;	0,1 (off,on)
48	tx_fine_sw;	0,1 (off,on)
49	tx_bendrange_sw;	0,1 (off,on)
50	tx_cutoff_sw;	0,1 (off,on)
51	tx_attack_sw;	0,1 (off,on)
52	tx_decay_sw;	0,1 (off,on)
53	tx_release_sw;	0,1 (off,on)

3.2.4 Only_for_Sound DATA

The structure of Only_for_Sound
single #1, single#2, single#3··········single#64

The format of one single

No.	VALUE	
1	cutoff	14~64~114(-50~0~+50)
2	attack	14~64~114(-50~0~+50)
3	decay	14~64~114(-50~0~+50)
4	release	14~64~114(-50~0~+50)
5	effect_sw	bit0:REV, bit1:EFX (off:0, on:1)
6	efx_type	0~20
7	efx_rate	0~127
8	efx_send	0~127
9	rev_type	0~6
10	rev_rate	0~127
11	rev_send	0~127
12	voicing	0~3(Normal, Mellow, Dynamic, Bright)

コントロール番号 10進表示	 16進表示	コントロール機能
0	0	バンク・セレクト（MSB）
1	1	モジュレーション・ホイールまたはレバー
2	2	ブレス・コントローラー
3	3	未定義
4	4	フット・コントローラー
5	5	ポルタメント・タイム
6	6	データ・エントリー（MSB）
7	7	チャンネル・ボリューム
8	8	バランス
9	9	未定義
10	A	パン（パンポット）
11	B	エクスプレッション・コントローラー
12	C	エフェクト・コントローラー１
13	D	エフェクト・コントローラー２
14	E	未定義
15	F	未定義
16-19	10-13	汎用コントローラー１～４
20-31	14-1F	未定義
32	20	バンク・セレクト（LSB）
33-63	21-3F	コントロール番号1-31対応のLSB
64	40	ホールド（ダンパー・ペダル、サスティン）
65	41	ポルタメント・オン／オフ
66	42	ソステヌート
67	43	ソフトペダル
68	44	レガート・フット・スイッチ
69	45	ホールド２
70	46	サウンド・コントローラー１（サウンドバリエーション）
71	47	フィルターレゾナンス（ティンバー／ハーモニック・インテンシティ）
72	48	リリース・タイム
73	49	アタック・タイム
74	4A	ブライトネス（カットオフ）
75	4B	ディケイ・タイム
76	4C	ビブラート・レイト
77	4D	ビブラート・デプス
78	4E	ビブラート・ディレイ
79	4F	サウンド・コントローラー１０
80-83	50-53	汎用コントローラー５～８
84	54	ポルタメント・コントロール
85-90	55-5A	未定義
91	5B	リバーブ・センド・レベル
92	5C	エフェクト２・デプス
93	5D	コーラス・センド・レベル
94	5E	エフェクト４・デプス
95	5F	エフェクト５・デプス
96	60	データ・インクリメント
97	61	データ・デクリメント
98	62	ノンレジスタード・パラメータ番号（LSB）
99	63	ノンレジスタード・パラメータ番号（MSB）
100	64	レジスタード・パラメータ番号（LSB）
101	65	レジスタード・パラメータ番号（MSB）
102-119	66-77	未定義：予約済み
120-127	78-7F	チャンネル・モード・メッセージ

MIDI Implementation Chart

Date : 2001 Dec 10
Version : 1. 0

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1～16 1～16	1～16 1～16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *********	モード3 ×	
ノート ナンバー	音域	0～127 *********	0～127	
ベロシティ	ノート．オン ノート．オフ	1～127 ×	1～127 ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ○*	× ×	
ピッチ．ベンド		○	○	
コントロール チェンジ	0,32 1 6,38 7 10 11 64 67 72 73 74 75 91 92 93 98,99 100,101 0-114	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○*	× ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ×	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ボリューム パンポット エクスプレッション ホールド1 ソフト リリース アタック カットオフ ディケイ リバーブデプス ロータリースピーカー エフェクトデプス NRPN LSB/MSB RPN LSB/MSB
プログラムチェンジ	設定可能範囲	○ *********	○ 0～127	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントローラー ローカル オンオフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × × × ○ ×	○ ○ × ○ (123) ○ ×	
備 考		*assigned to EXP, FSW, knobA-D モード1：オムニオン、ポリ　モード2：オムニオン、モノ モード3：オムニオフ、ポリ　モード4：オムニオフ、モノ		○：Yes ×：No

その他

索引

チ

テ

ト

ノ

ハ

フ

ヘ

ホ

マ

モ

リ

ロ

KAWAI

株式会社 河合楽器製作所

電 子 楽 器 事 業 本 部

〒430-8665　浜松市寺島町200番地
TEL.〈053〉457-1277／FAX.〈053〉457-1279
http://www.kawai.co.jp

0112TYP5C
Printed in Japan